

フォトライフ

四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎ 045-476-0777
平成11年12月1日発行
季刊第31号
www.kitamura.co.jp

カメラの
キタムラ®

vol.31
WINTER

特集 写真家・田中達也氏

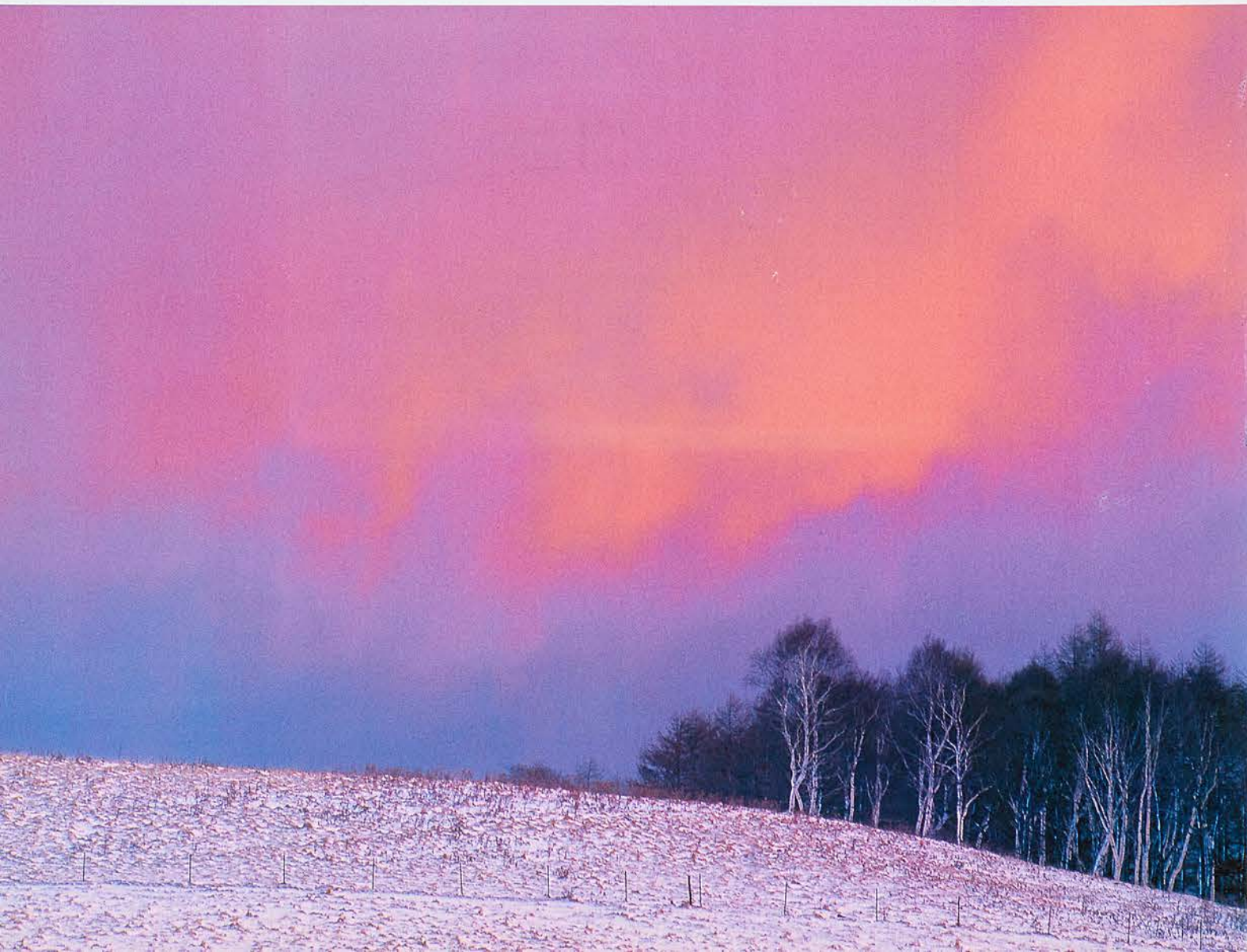
雪は「白」ではない。さまざまな色がある。

新連載

路上観察紀行「奥の細道」ウォッチング
第1回 林 丈二氏

保存版 冬の写真を楽しもう

丘を通過する雲が朝焼けでサーモンピンクに染まる。その色はさらに地上にも反射し雪面を淡いピンクに色づける。そして雲が通過すれば色の演出は一段落する。
■カメラ：EOS-1N レンズ：EF28~80mm F2.8-4L 絞り：f16 AE +1/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県立科町
(撮影) 田中達也氏



フォトライフ
四季
CONTENTS
Vol. 31
WINTER



薄暮の状況で撮影した樹氷。この樹氷は寒波の到来でわずか2、3時間で化粧されたもの。霧の晴れたわずかな間に撮影した。
■カメラ：EOS-1N レンズ：EF70～200mm F2.8L 絞り：f11 AE フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県阿智村（撮影）田中達也氏

特集 写真家・田中達也氏

雪は「白」ではない。
さまざまな色がある。

田中達也先生が撮影した「日本の冬」 10

新連載 路上観察紀行「奥の細道」ウォッチング 第1回
林 丈二氏 12

ぶらりわが街
岩手県盛岡市 佐藤賢悦さん 18

ペット・動物ふれあい写真コンテスト
受賞作品誌上ミニ二覧 20

保存版 冬の写真を楽しもう 25

次ページ (P2・3) の写真解説
降り始めた初雪を見て近くの山野に出かけた。積雪は浅いが、大粒のぼたん雪が激しい。何気ないスキの群生も魅力を醸し出していた。
■カメラ：EOS-1N レンズ：EF28～70mm F2.8L 絞り：f10 AE 2/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：愛知県小原村（撮影）田中達也氏

第7回「子ども&赤ちゃん すくすくフォトコンテスト」入選作品発表 22
キタムラ インフォメーション 32
プレゼントが当たる！クロスワードパズル 32
編集後記 32

CAMERA GRAND PRIX '99
カメラグランプリ'99
受賞
カメラグランプリ実行委員会
カメラ記者クラブ
アサヒカメラ カメラ年鑑 カメラマン CAPA
ユマニティフォト 四季の写真 写真工業 日本カメラ
日本フォトコンテスト フォト・テクニック 風景写真

α-9

感動、そして感謝。

ありがとうございました。皆様からのご支援のお陰で、ミノルタα-9は'99年度カメラグランプリを受賞することができました。ただ単に最新のテクノロジーを追い求めるのではなく、ユーザーの皆様の声を積極的に反映し、一つの製品として結実させたことが評価されましたことは、開発・生産・販売に携わった関係者のみならず、全社を挙げて心からの感動と感謝を禁じ得ません。今後も皆様にご満足いただける「確かな信頼性」を目指して、カメラ創りに邁進してまいります。引き続きのご愛顧を心よりお願い申し上げます。

希望小売価格(税別)
α-9ボディ ¥250,000
AF50mmF1.4 NEW ¥35,000

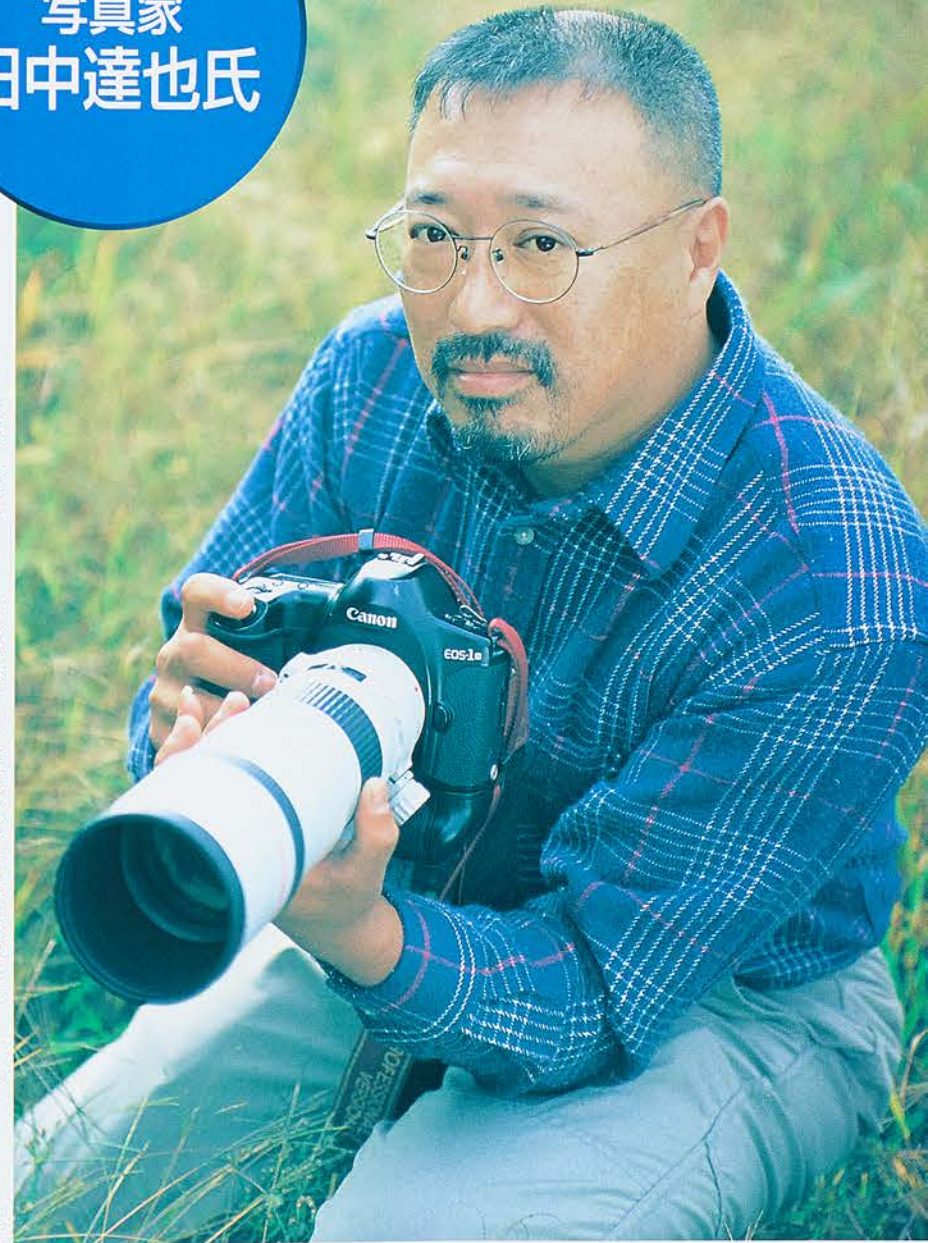




雪は「白」ではない。 さまざまな色がある。

四季を通じておう盛な活動力で、幅広く作品を創作されている田中達也先生は名古屋にお住まいです。最近の写真家としては少数派の、地方在住でいらっしゃる。高速を使えば2~3時間で日本アルプスに、また、飛行機を使えば北海道まで2時間と、その名古屋という地の利便性を活かし、素晴らしい冬の作品をたくさん発表されています。今回はその田中先生をお訪ねして、「雪は白ではない。私にとっては青いんです」とおっしゃる先生に、冬の撮影の難しさと素晴らしさについて、伺いました。先生が撮られた鮮やかな冬の作品とともに、その豊富なご経験に裏打ちされた、冬場の撮影テクニックを参考にして、皆さんもぜひ、この冬は素晴らしい作品にチャレンジしてみてください。「チャレンジし、失敗すること。そこから写真の第一歩なんです」とおっしゃる田中先生の、写真に対する温かい愛情が、皆さんのもとに届けば幸いです。 ※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて田中先生の作品です。

特集 写真家 田中達也氏



たなかたつや / 1956年愛知県生まれ。愛知学院大学文学部卒業。医療ソーシャルワーカーとして精神障害者のケースワーカーに従事した後、自然写真家として独立。日本写真家協会・自然科学写真協会会員。著書に「自然風景表現術」O&A写真の学校(学研)、CD-ROM「空(空)シンフォレスト」がある。多数のカメラ誌に作品を発表。執筆・講演と幅広く活躍中。

冬は被写体を前にしたときの 緊張感が高まる季節。

雪が降ったらどのようなように景色が変わるのか、それをイメージできれば冬の撮影は難しくくない。

田中先生は四季を通じて多くの作品を創作されていますが、先生ご自身は

撮影の季節として、夏と冬では、どちらがお好きですか？

私の場合、どちらかというと冬のほうが撮影に出かける機会が多いですね。

冬場の撮影では、主にどこにお出かけになるんですか？

近場です(笑)。私の作品はイメージ的なものが多いので、北海道で撮影しても、近場で撮影しても、作品の出来がそう大きく変化することはないんです。ですから、どこでも撮れます。私の住んでいる愛知県でも、最も冷える場所ではマイナス20度にもなりますから、十分冬のイメ

ージを撮影することができません。日本の場合、冬の撮影というときに北海道が思い浮かびますが、それに近い冬の景色であれば、たとえば中部地方にも撮れる場所があるんです。もちろん北海道独特の「しばれる」といった空気感を表現するのは難しいですが、必ずしも遠出しなければ冬のよい写真を撮ることができない、ということはないんです。

アマチュアの場合は、近場で冬らしい写真を撮るのは難しいのでは？

その場所に雪が降ったらどのように景色が変わるのか、それをイメージできれば、近場での冬の撮影も狙いやすくなると思いますよ。

冬は夏よりも季節の特徴がはっきりしている。

冬にも初冬、冬の盛り、晩冬とありますが、それぞれの趣は、かなり異なるのでしょうか？

ええ、違います。撮影場所としては、初冬の新雪の時期であれば、たとえば溪流などがいいですね。石に綿帽子がかぶるような状態が撮れます。厳冬になると、川の流氷が雪で埋もれてしまうので、初冬の方がいいシーンが撮れるんです。

2月の厳冬の時期はふぶいている様子など、冬の厳しい寒さが伝わるシーンを狙います。3月に入ると陽光も眩しくなってくるので、春の訪れをイメージできる作品が狙えますね。

田中先生にとって、冬場の撮影の魅力は何ですか？

冬の場合は、雪・氷を代表として閑散とした木立など、その季節の雰囲気をおのずと醸し出してくれる被写体が多く、季節のイメージを作品にしやすいです。一方、夏の場合は、雲や海と言った被写体を中心となりますが、これらは一年中



立春を迎える頃には春の日差しを感じる。残雪の日陰と、陽光浴びる日向を対比させることで、温もりをイメージさせる。望遠による前ボケを生かすことで画面変化をつけた。
■カメラ：EOS-1 レンズ：EF300mm F2.8L 絞リ：f4 AE-1/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県売木村



雪深い場所の溪流は流れも雪に埋もれてしまうため、撮影ポイントの選択が必要。また接近しすぎると流れに落ちることもあり、危険が伴うため、望遠レンズを活用する方が安心だ。
■カメラ：EOS-1N レンズ：EF70~200mm F2.8L 絞リ：f11 AE+1/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：岐阜県白鳥町

見られるもので、夏特有、というものはありませんからね。こちらで変化を持たせないと、なかなかその季節のイメージが伝わりにくいんです。

また、気温が劇的に下がると、その時にしか撮れない作品ができやすいんです。春や秋ですと、桜であれ紅葉であれ、ある程度、開花時期を読んで狙った撮影をすることもできますが、冬は、たとえば冬山など特にそうですが、天候が変わりやすく、それは難しい。その一方で、思いがけないシャッターチャンスに出会えることも、また多いんです。そういう意味では、被写体を前にしたときの緊張感が高まる季節ですね。

雪に露出補正は必要ない。

雪は本来、無色透明なもの。光の具合によって色は変わる。

アマチュアの方々に冬場の撮影のアドバイスをいただければと思います。

アマチュアの方が冬に撮影を行う場合、失敗しやすいのは露光なんです。美しい雪原を撮影し、仕上がった写真を見てみると、自分の見た印象とは違っている。自分が見た雪原には、もっとボリュームがあったはずなのに、写真は平面的に写っている。そうした失敗が多いのです。これは露出補正が原因で、雪面に露出補正は必要ないのです。そもそも雪は何色だと思いませんか？

白ではないのですか？

いいえ、雪は無色透明なんです。白く見えるのは日光を反射しているからなんです。そして、私にとっては、雪は青なんです。

青いんですか？

そうです。雪面には凹凸があって、これを雪原のボリュームとして感じるので、この凹凸を作っているのは雪面に映った影なんです。晴天時の雪上の日陰は青空を反映して青くなるんです。曇天ではグレーになりますし、夕日に照らされれば雪は赤くもなります。この、雪面上



早朝、林道沿いで見つけた雪をかぶる小枝。広角でぐっと近づいてデフォルメ表現する。特長の少ない素材も個性が出てくる。レンズワークを工夫することでチャンスが広がる。
■カメラ：EOS-1 レンズ：EF35mm F2 絞り：f8 AE フィルム：RVP 手持ち 撮影地：愛知県豊田市

初雪から2日後の早朝風景である。前夜の冷え込みで雪解けた枝々に水分が着水して、一部の樹木は樹氷となった。雪と氷のミックスした景観は凍てつく気配が漂う。
■カメラ：EOS-1N レンズ：EF300mm F4L 絞り：f11 AE -2/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：岐阜県丹生川村



失敗し、その失敗を一つ一つ考えていく。それが写真にオリジナリティを与えていく。

先ほどのお話に戻りますが、マイナスに補正するのはどのような場合なのでしょうか？

これは表現テクニックとして露出をコントロールする場合です。たとえば水を撮っているときに、クリスタル感を強調するために、プラスに補正することがありますが、そうすると、たしかに明るくはなります。しかし氷の持っている硬質な冷たさは、かえって薄れてしまうのです。ですから、こうした場合には、逆にマイナスに補正して全体を暗くし、ハイライトを強調することで、氷の硬い冷たさを表現することができます。これは雪面の撮影の場合も同じです。

こうした露出コントロールは、特にピグナーの方には難しいことだと思うのですが、失敗を恐れずにチャレンジしていくと、冬場の撮影がずっと面白いものになってくるはずですよ。

失敗することで成長してゆくわけですね？

そうです。なぜ失敗したのか、どうすれば失敗しない写真が撮れるのか、それを一つ一つ考えていってほしい。それが結局、オリジナリティあふれる写真を撮る近道だと思います。

氷点下の続く滝壺では、飛沫や落水が氷結する姿を見ることができ。凍結と雪積が繰り返され、ぶ厚く成長した氷結は神秘的な青い色彩を放つ。部分的なねらいで色彩を強調した。
■カメラ：EOS-1N レンズ：EF300mm F2.8L 絞り：f11 AE +1/2補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：岐阜県平湯大滝



の影をとらえなければ、ボリュームのある雪面は撮れないのです。雪が白という一般的な概念にとらわれると、プラスに補正したくなります。しかし、日陰に露出を合わせると補正する必要はないんですよ。それをプラスに補正してしまうので、結果的に露出オーバーになってしまふ。補正したとしてもプラス1で十分です。

もちろん使用するカメラによっては中央重点測光の露出モードの場合もありますから、この場合はプラス値を変えて、たとえばプラス2にしなければならぬ場合もあるのですが、現在のカメラの場

合、露出は多分割測光で計っていますから、おむねプラス1の補正で問題は無いと思います。私の場合、マイナスに補正して撮影することも少なくありません。

青い空を撮るときは順光で撮ります。青空というのは太陽から最も離れたところが一番濃いんです。太陽のそばでは空は白くなってしまうんですが、これはそれだけレンズに多くの光が入ってきてしまったためなんです。順光は太陽から離れていまして、空も青くなります。もちろん空気の澄み具合もありまして、日本海側ですと鉛色の空になってしまますので、太平洋側のほうが冬の青空を撮りやすいといえるでしょう。



アラスカの冬は降雪こそ少ないが、平均気温がマイナス40度にもなる極寒の地である。そんな地にあつてこの沢の流水は温泉が流れ込むために凍ることがない。
■カメラ：EOS-1N レンズ：EF28mm F2.8L 絞り：f14 AE フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：アラスカ、チエナ

雪原の凹凸をフォルムとして捉えた。ポイントには日陰から日向にかけての明暗を利用してボリューム感をだすこと。そのためには決して露出オーバーになってはいけない。
■カメラ：EOS-1N レンズ：EF70mm F2.8L 絞り：f16 AEマイナス1/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県立科町



モノトーンに近い冬景色の中で寒椿の鮮やかな彩りは人目を引く。積雪と組み合わせることで一段と風情が増すが、雪解けの早い心部では素早い対応がチャンスにつながる。
■カメラ：EOS-1 レンズ：EF100mm F2.8 マクロ 絞り：f4 AE +2/3補正 フィルム：RVP 手持ち 撮影地：愛知県尾張旭市





雪原を照らす強い日差しが純白の雪を演出する。風に倒れる葦の群れと起伏にできた影を捉えることでシンプルで立体的な絵柄を構成した。
■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：EF70~200mm F2.8L 絞：f16 AE+2/3補正
フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県立科町

う意見をよく聞きますが…?

コツがあるんですよ。三脚を全開にして立てようとすると、雪の抵抗で閉じてきてしまい、うまく立たないんです。そこで、こうした軟らかい場所です。三脚を立てる場合は、少し閉じ気味にして立てられます。そうすると立てたときに余裕ができますから、その後で広げます。立てた後で開くんです。そうすると、しっかりと立てることが出来ます。

冬場の撮影では、撮影以外の知識や装備も重要。

冬場の撮影では、防寒に対する一般的な知識が必要。

寒いこの時期の撮影で、そのほかに知っておく必要のあることは何ですか？

冬の撮影の場合は、撮影の工夫も必要ですが、撮影以外の防寒に対する一般的な知識が重要です。撮ろうと思ったその時に、寒くてふるえていたのでは、いい作品はできませんからね。

具体的には、どういったことがありますでしょうか？

たとえばウェアの場合ですが、冬に撮影をしようとする場合、何枚ぐらい重ね着しますか？

下着も加えると4枚です。

私は3枚です。

下着も加えてですか？ 意外に薄着なんですね。

ええ。冬は寒いので、ついつい厚着をしたくなりますが、保温性というのは衣類と衣類との間に空気の溜まりを作った方が効果的なんです。ですから、ゆったりとしていて防寒対策がしっかりとされる

もう一つの方法として、スキー洋品店で売っている、ストックの先の部分を、三脚の先に取り付けるという方法も効果的です。三脚を使用する場合のストックパーには他にもあると思うのですが、大きすぎると雪面に抵抗がかかりすぎて、撮影するときにはブレを誘発してしまうことがあるので、選ぶときには注意した方がいいですね。しっかりと雪を固めてくれて、しかも先がきちんと雪面にささるものがいいんです。

スキー用品のカタログを見ると、ストックの先にもアルペン用、モーグル用など、いくつかあるのですが、モーグル用は種類も豊富で、中には雪面に接する内側がえぐれているものがあるんです。これですと雪をしかりとつかんでくれませんから、特に具合がいいですね。

最後になりましたが、先生が冬場の撮影で、特に苦労されていることはありますか？

ありますよ。ラッセルです(笑)。新雪は軟らかいので、機材を置いて軟らかい雪をかきわけ、かきわけ進みます(笑)。足下がズボッと落ちてしまい、首まで雪に埋まったこともありますよ。出られなくなってしまう。皆さんも雪の上では、足下に十分に注意された方がいいですよ。

わかりました(笑)。本日はお忙しいところ、貴重な助言をいただき、ありがとうございました。

荒れ模様の天候から気まぐれな太陽が顔を覗かせた。逆光で見る雪面は暗い灰色。時折吹き抜ける強風を追い追うように地吹雪が駆け抜ける。山上の牧草地で出会った厳しい自然美である。
■カメラ：EOS-1 レンズ：EF28~70mm F2.8L 絞：f11 AE-1/3補正
フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：愛知県津具村



凍結した湖面に降りた雪が徐々に解け始めた。このわずかな時間の間に湖面はさまざまな表情を見せてくれる。湖水から伸びる木立ちをアクセントにしてまだら模様を捉える。
■カメラ：EOS-1N レンズ：EF70~200mm F2.8L 絞：f14 AE+2/3補正
フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県王滝村

合いに分けてもらった、大きいサイズのものを使っています。これを使用すると300ミリのレンズでもカバーすることが出来るんです。

こうしたカバーの類は不要品を利用して自分で工夫するといいたいですね。また、バッテリーは吹きさらしでは使用できなくなることもあるので、すぐに入れ替えられるように、ユニットごとポケットに入れてあります。

スキー用品も工夫しだいで撮影に応用できる。

雪の上では三脚が立てづらいとい

ているものを選び、少なめに着るのがコツです。
下着は、素材で言う綿はだめです。汗をかいた場合に凍ってしまいますのでお薦めできません。また、冷気は襟や袖から入り込み、体を冷やしますから、襟や袖がしっかりと閉じられるものがいいんです。足下からも冷えてきますから、私の場合、靴はマイナス40度の極寒でも保温性を保てるものを持っています。
こうした冬場の撮影時の装備は登山用品売場などで整えるとうまいと思います。

機材にはどのような工夫をされていますか？

今のカメラは丈夫ですから、それほど心配することはないと思います。ただ、レンズの防滴対策は必要です。私は雨の時でもレンズにレインウェアを付けず、代わりに特別仕様のものを使っています。

特別仕様といえますか？

実は、業務用のシャワーキャップなんです(笑)。ただし、ホテルに備え付けてあるようなものは、破けやすいのでいけません。美容院で使っているものもいいんです。ただ、普通サイズのシャワーキャップでは、小さすぎて、望遠レンズなどには使えません。それで美容院の知り



静まり返った池を覆うように現れた鉛色の雲。バックには美しい夕焼け空が広がっている。動きのある雲と湖面への夕焼けの映り込み。さらに周囲の山陰など、すべてを注意深く配列しないと風景としての一体感が失われてしまう。

■カメラ：EOS-1N レンズ：EF100mm F2.8 マクロ 絞り：f8 AE -2/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県茅野市



降雪で霞む遠景に荒涼とした雪の原野が広がる。そして数本の枯れ木立ちが殺伐とした光景を印象づける。ややアンダー気味に露出設定することで出会いの印象を表現した。

■カメラ：EOS-1 レンズ：EF20~35mm F2.8L 絞り：f9 AE -1/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県茅野市横岳



氷点下15度を下回る厳しい冷え込みに川が凍った。日の出を前にして流れが氷を砕いていく。ひび割れ、溢れ出る水面に朝焼けが映った。

■カメラ：EOS-1N レンズ：EF70~200mm F2.8L 絞り：f14 AE フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県王滝村



氷の作る造形は一つとして同じものがない。これは沢の水が落下しながらできたもので、マクロレンズでクローズアップした。クリスタルな透明感を表現するためにマイナス補正している。

■カメラ：EOS-1N レンズ：EF100mm F2.8 マクロ 絞り：f8 AE -2/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県茅野市



降雪シーンは背景に溶け込みやすいので、写っていても分かりにくい光景だ。この作品は横なぐりの吹雪の様子をシンプルなバックに反映させた。絞りを開け気味にして1/60秒で捉えた。

■カメラ：EOS-1N レンズ：EF70~200mm F2.8L 絞り：f4 AE フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：愛知県稲武町

田中達也先生が撮影した「日本の冬」

田んぼに降り立った白鳥が餌をついばみながら長旅の疲れを癒している。それぞれの仕草や動作を観察して、周辺との組合せから構図を決定することが自然な雰囲気をつかえるコツである。

■カメラ：EOS-1 レンズ：EF500mm 4.5L 絞り：f4.5 AE +1/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：新潟県世神村



木立ちと交錯するのはそれらの影である。幹の根元には丸い雪解け模様がある。直線や円形といった素材のパターンを生かして構図を描いた。

■カメラ：EOS-1N レンズ：EF35~350mm F3.5-5.6L 絞り：f16 AE +2/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：長野県王滝村



樹氷する木立ちをアップで捉える。枝の配列や隙間のバランスに注意しながら画面全体を整えていく。左右上下と微調整するフレミングはいくらか寒くてもおろそかにできない詰めの作業である。

■カメラ：EOS-1N レンズ：EF70~200mm F2.8L 絞り：f8 AE +1/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：愛知県稲武町

「雪にはさまざまな色がある」とおっしゃる田中先生の中には、ときにはおだやかな、ときには厳しい冬の様々な表情が、見事に捉えられています。

ここでは、そうした先生の作品を少しだけ拝借し、ミニギャラリーを設けて紹介させていただくことにしました。先生の貴重なコメントと併せて、冬の撮影の参考にしてください。



冬枯れの林と朝焼け。空模様だけで季節を表現するには限界がある。そのため地上の景色を生かすことが大切で相乗効果が期待できる。

■カメラ：EOS-1N レンズ：EF28~80mm F2.8 4L 絞り：f8 AE +1/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：愛知県豊田市



枯れ木立ちの上空を染める夕焼けが刻々と変幻する。いつがシャッターチャンスか、決めるのは撮影者自身である。レンズの選択や色の変化を予測する駆け引きがたまらない。

■カメラ：EOS-1N レンズ：EF70~200mm F2.8L 絞り：f8 AE +1/3補正 フィルム：RVP 三脚使用 撮影地：愛知県長久手町

新連載

路上観察紀行 奥の細道 ウォッチング

〈第1回〉

林 丈二氏

皆さんは「路上観察学会」という名前を聞いたことがあるでしょうか。

以前、本誌の連載でも取り上げたことがあるのですが、

町の路上にカメラを向けて、見慣れた日常の風景の中から、

不思議なモノやユーモラスなモノを見つけ出す活動をされているグループです。

メンバーには作家で芸術家の赤瀬川原平氏、イラストライターの南伸坊氏、建築家の藤森照信氏、

作家でイラストレーター、デザイナーでもある林丈二氏、編集者の松田哲夫氏、江戸風俗研究家の杉浦日向子氏と、

多彩でそうそうたる方々がいらっしゃいます。

以前は東海道五十三次の道のにあわせて路上観察されていた皆さんですが、

今回の企画では、俳人芭蕉の歩いた「奥の細道」を、2年計画で路上観察しながら旅されることになりました。

そこで本誌でも、4回にわたって皆さんにご登場いただき、「奥の細道」のお話を中心に、

路上観察の魅力や楽しさを伺いたいと思います。第1回は林丈二氏です。



はやし じょうじ
 1947年、東京生まれ。武蔵野美術大学卒業。作家、イラストレーター、デザイナー。小学校時代からの調査マニアで、マンホールの蓋やブロックにも探求の視線を向け、丹念にデータを収集。旅先での靴底に詰まった小石の採集標本は特に有名。外国の古絵葉書の収集にも意欲的に取り組んでいる。著書に「マンホールの蓋」(日本篇)、「ヨーロッパ」(サイエンス社)、「街を転がる目玉のように」(筑摩書房)、「路上探偵事務所」(毎日新聞社)、「イタリヤ歩けば」(フランス)、「猫はどこ?」「犬はどこ?」(廣済堂出版)、「ガラクタ道楽」(関古堂の絵葉書散歩)、「東郷」(西編)、「小学館」(型録)「ちよと昔の生活雑貨」(晶文社)など。



今回の企画「奥の細道」を歩く面々。右から南伸坊、松田哲夫、赤瀬川原平、藤森照信、林丈二の各氏。(千住にて)

豪華絢爛なヴァチカン市国のマンホールの蓋。中央にあるのがヴァチカン市の紋章。今まで見てきたマンホールの蓋の中で、一番ゴチャゴチャしていて装飾的なデザイン。(「マンホールの蓋」〈ヨーロッパ篇〉より)



パリの凱旋門を横から撮った。正面の印象が強いものほど、横や後ろに興味がある。(「関古堂の絵葉書散歩」〈西編〉より)



ロンドンで見つけた、アメリカ人がウヨウヨしているような、妙な模様のマンホールの蓋。(「マンホールの蓋」〈ヨーロッパ篇〉より)

建物の間から霞んだパリのエッフェル塔が見える。翌日、同じ場所に来てみたら、霞んでいたエッフェル塔がくっきりと見え過ぎて、風情は半減。(「関古堂の絵葉書散歩」〈西編〉より)



榎原市の今井町で見つけた竹を模したフリキの両端。葉っぱまでついている。(「関古堂の絵葉書散歩」〈西編〉より)



林丈二氏は路上観察学会の発足以前に、すでに路上の様々なモノに興味を持たれ、その写真を雑誌に発表されてきました。そうしたことから路上観察学会では「路上観察の神様」とも言われているとか。林氏は路上で自分の感性のアンテナに反応したモノなら何でもカメラで撮り、収集されてきました。その興味は国内にとどまらず、海外にまで及んでいます。イヌやネコ、ブロック塀、神社の狛犬、その他なんだかわからない変なモノまで、とにかく、そのおう盛な好奇心が反応するものは幅広い範囲に広がっています。中でもマンホールの蓋の写真は名高く、マンホールの蓋の写真だけを集めた写真集を、すでに「日本編」「ヨーロッパ編」と2冊刊行されています。まず「路上観察学会」発足のきっかけにもなった、このマンホールの蓋の話から伺いました。

も私の場合、マンホールの蓋だけではなく、路上観察学会が発足する以前から、町中にある目立たないけどなかなかいいモノ、奇妙なモノといった類には興味を持っていました。マンホールの蓋の写真がたまってきたので、写真集にまとめようとした時、出版社の方が建築家の藤森照信さんに書評を書いてもらおうと言いついたんです。ところが藤森さんは、この書評だったら「超芸術トマソン」を発表された赤瀬川原平さんに書いてもらったほうがいい、とおっしゃって、赤瀬川さんに話がいきました。日本でそんな話が進んでいた頃、私はマンホールの蓋の写真集の第二弾として、ヨーロッパ編を手がけることになり、ヨーロッパへ行っていたんです。もともとマンホールを必要とする上下水道施設は、欧米から入ってきたものなので、そのルーツを辿っていったわけです。帰国すると出版社の方が、ヨーロッパで撮ってきたマンホールの写真の映写会を開こうと言います。いい機会だから藤森さんや赤瀬川さんも呼ぼうということになって、私の家で映写会を開くことになったんです。その時が赤瀬川さんとお会いした最初ですね。それが結局、路上観察学会の発足のきっかけになったんです。当時、赤瀬川氏は路上の変わった建物などに注目し、特に「不動産に付着して美しく保存されている無用の長物」を「超芸術トマソン」と名付けて紹介されていました。また、藤森氏はサントリイ学芸賞を受賞した「建築探偵の冒険」で、やはり路

弁天様のお使いが蛇なので蛇を奉納していると思うのだが、蛇というよりはウツコが並んでいるようにも見える。(今市)



目の病に効くので絵馬に「め」と書いて奉納する神社。中には錆物や石で「め」と作ってある凝ったものもある。(今市)



お茶と、はきものを売っているお店。小さな「と」は後からつけたものか？(間々田)



取り方によっても全然違って見える。ファイダーを額縁として、町の景観を作品として見ているわけですね。地方によってはよく見かけるモノ、またその地域では不思議でも何でもない。けれど別な地域から訪れた人からすると不思議

路上観察の魅力は日常の中から不思議と思えるモノ、面白いと感じるモノをファイダーを覗きながら、写真で捕らえてゆくこと、と語る林氏。また、写真を撮るかたわら、丹念にメモをとることも、その時の自分のイメージーションを、後になって、しっかりと表現するのに役立つのだとか。

観光客が砂利を使って手足や首をつけ、勝手に亀にしてしまった。他にもいくつかあったけれど、これは中でも保存状態(?)がよく、完全体で残っていた。(日光東照宮)



怪しい道祖神? うれしそうに寄り添っているところが、よけいに怪しい。(幸手)

日光の東照宮には、よく見ると不思議な画像がたくさんある。子どもが犬と遊んでいるところ。(日光東照宮)



雨樋の水が跳ねないように、自作で工夫している。日本人の水に対する配慮がよく出ている。(小山市)

フルイに「タネ」という看板のある種屋さんの。今ではこうした看板を出している店は珍しい。(幸手)



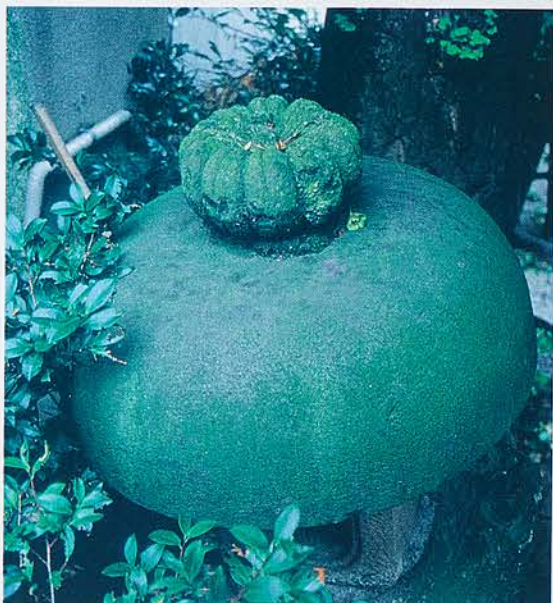
今市は大谷石の産地なので、消防団の倉庫まで大谷石で作られていた。大きな顔にも見える。(今市)



石灯籠の上に変なものが乗っているな、と思ったら、石で掘られたカボチャだった。(千住) 頭でつかちの狛犬に出会ったのでバチリ。本当は怖いはずの狛犬でも、好ましいヤツもいる。(小山市)



片方だけ置き去られていた靴。もう片方はどうしたのだろうか? いろいろとストーリーが思い浮かぶ。(深川)



日頃は何でもない景観が、写真で切り取ってみると、すごく美しい造形だったりするんです。

幸手の路上では、ちょっと怪しい彫り物を見つけたんです。二人のお坊さんが夫婦のように寄り添っているんですよ。変でしょ? 道祖神にしては二人の僧侶というのをおかしいですし、なぜこれが彫られたのか、その由来がわからない。路上には気をつけて見ないと見過ごしてしまう、だけどよく見ると、とても不思議なモノが結構あるんです。黒磯では、昔階段があったらしい跡が壁に残っていました。その景観は、日頃は何でもなく見過ごしてしまっていると思うのですが、こうして写真で切り取ってみると、すごく美しい造形であったり不思議なモノであったりするわけです。切り取り方によっても全然違って見える。ファイダーを額縁として、町の景観を作品として見ているわけですね。地方によってはよく見かけるモノ、またその地域では不思議でも何でもない。けれど別な地域から訪れた人からすると不思議

路上観察の面白味の一つは、このように路上の「おやつ?」と思うモノの中に、自分のイメージーションを刺激するものがある、そうしたモノとの出会いなんです。この赤い靴にしても、近所の人に聞けばすぐに理由がわかってしまっ、なあん、ということになるかもしれない。それを聞かずに、自分のイメージーション、ストーリーを広げてゆく。それが面白いんです。千住ではカボチャの石灯籠がありました。千住大橋のすぐ側の小さな神社にあった石灯籠なんです、宝珠のところがかぼちゃになっていて、この辺はどうやら昔、野菜市場があったところらしい。それでカボチャなんだろうけど、カボチャの石灯籠というのは、日本でもここだけにしかないんじゃないでしょうか。石灯籠の宝珠をカボチャにしてしまおうという発想が面白いんです。宝珠は宝

Nikon



これが、ウーマンズ・ニコン。
WOMAN'S NIKON

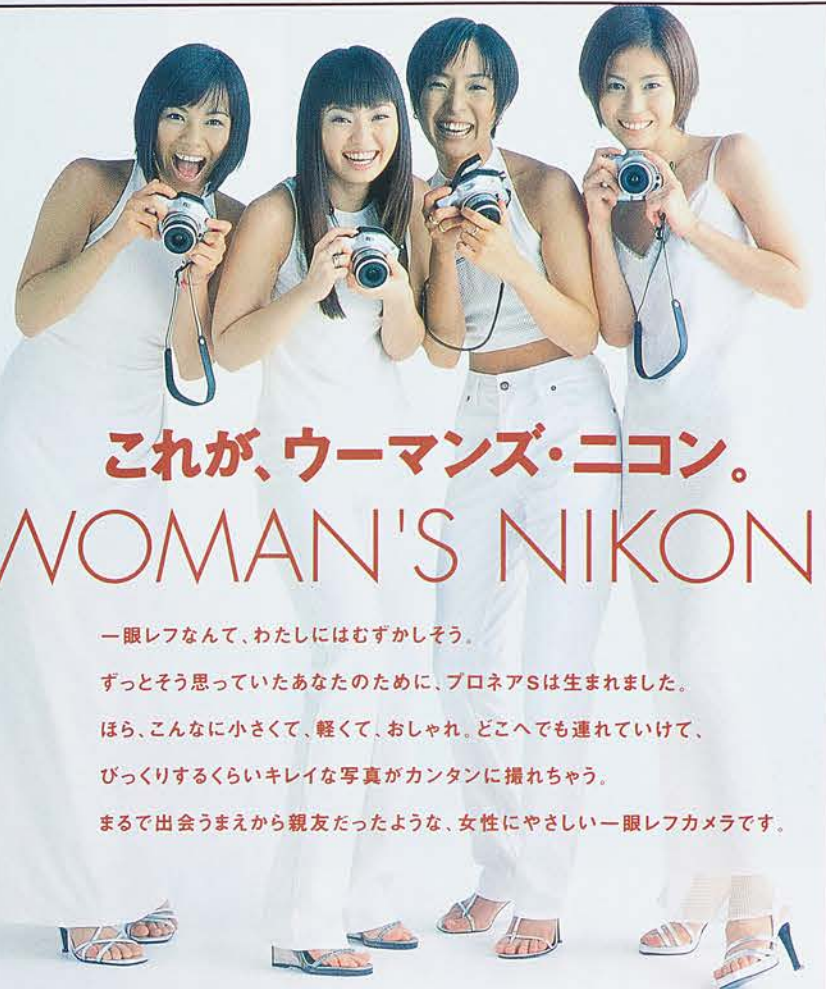
一眼レフなんて、わたしにはむずかしそう。
ずっとそう思っていたあなたのために、プロネアSは生まれました。
ほら、こんなに小さくて、軽くて、おしゃれ。どこへでも連れていけて、
びっくりするくらいキレイな写真がカンタンに撮れちゃう。
まるで会えうまえから親友だったような、女性にやさしい一眼レフカメラです。

PRONEA S

APS AF一眼レフ/ニコン・プロネアS
ボディ本体 ¥54,000
IXニコール 30~60mm F4~5.6付 ¥74,000

インターネットホームページアドレス <http://www.nikon.co.jp/photo/>
NIFTY-Serveで(ニコン・ステーション)を開設しています。「GO SNIKON」でお気軽にアクセスしてください。
カタログをご用意しています。機種名をご明記のうえ、100-8693 東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室宛ご請求ください。

Nikon 株式会社 ニコン 本社 100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル) 製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話(03)3216-1010 FAX(03)3287-0897



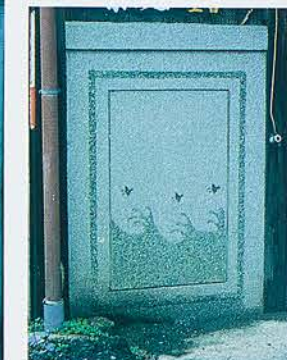
ファインダーの中の不思議な世界

路上観察紀行 奥の細道ウォッチング 林 丈二氏

斬新なデザインの駅。大きなハエか蚊がチュウチュウと地中の汁を吸っているように見える。(矢吹町)



波に千鳥は日本に古くからある模様だが、これは防火の願いがこめられている。持ち主にその事を話したら、「ヘー」と言って感心された。(矢吹町)



昭和9年と彫られている消火栓。年号の彫られている消火栓自体珍しい。(黒磯)



狛犬の後ろ姿。正面とはまったく異なる造形。この意外性がよい。(鏡石)



屋根に扇が裝飾されている家が目につく。この地方では意味があることなのだろうが、通りすがりの私には「不思議で面白いモノ」に見える。(守山)



メモ帳に書きます。そうしないと忘れてしまうんです。面白いものを見つけて、もう少し歩くと、もっと面白いものがある。その時には何なのかよくわからないことでも、撮り続けているとわかってくることもあるんです。それがすごく楽しい。

誰でも日常の中で、ふっと立ち止まって何かに見入ってしまうことってあると思うんです。立ち止まるってことは、そこで何かを感じているんです。このことが路上観察では大切なんです。何を感じたかは、その時にわからなくてもいいんです。かえって、すぐにわかってしまったものは面白くありません。些細なことでもいいんです。とりあえず、足が止まったそれを写真に撮っておく。メモ帳に書いておく。その立ち止まった理由を後から考えてみる。こじつけでもいいし、ただの思いこみでもいいんです。勝手にストーリーを描いてみてもいい。

そうして撮りため、記録してゆくと、その時には自分が何を感じたのかわからなかったことでも、後でわかってくることもあるんです。それがすごく楽しいんです。

結局、路上観察というのは道草なんです。誰でも歩いているときには目的地を目指しています。目的地に到達すること

メモ帳に書きます。そうしないと忘れてしまうんです。面白いものを見つけて、もう少し歩くと、もっと面白いものがある。その時には何なのかよくわからないことでも、撮り続けているとわかってくることもあるんです。それがすごく楽しい。

ですが、些細なことでもすぐに書きます。なんだかわからなくても書きます。それが体に習性として染みついていっているので、条件反射のように書いています。歩きながらでも書きます。私にとっては写真もメモ代わりなのですが、写真ではわからないこと、たとえば、その時に自分が感じたことなどを書き留めておきます。

ばかりに集中していると、路上に気がつかないんです。路上観察は目的地にたどりつくまでの行程を楽しむ、むしろその途中の道草が目的になっていくんです。その目的地はただのきっかけなんです。そういう遊び心が路上観察なんじゃないかと思っています。

林氏はこの後も「奥の細道」を道草をしながら歩かれます。「奥の細道」が終わったら、その後はどうするのか、との問いに「死ぬまで路上観察を続けていますよ。今回の「奥の細道」は仕事ですが、仕事にならなかつたってやっています」と、いかにも路上観察の神様らしい答えが、明るく返ってきました。

皆さんも、今度の休みにはカメラを片手に、道草をしに町に出てみてはいかがでしょう。ファインダーの向こうに、不思議で面白い世界が見えてくるかもしれません。

KYOCERA

CONTAX T₁ VS T₂



- カールツァイス バリオ・ゾナー-T*30~60mm F3.7~6.7 搭載
- スタイリッシュなデザインと自動開閉式フロントカバー
- 高精度マルチバッシュ方式オートフォーカス機構
- 最高速1/1000秒を実現するダブルピストン式レンズシャッター
- 作画重視の絞り優先オートと即写重視のプログラムオート露出機構
- 軽量・高強度・極めて優れた対腐食性をもつチタンを外観素材に採用
- 明るく見やすいズーム連動式ファインダー機構と視度調整内蔵

お問い合わせ先
京セラ株式会社 光学機器事業本部 ☎158-8610 東京都世田谷区玉川台2-14-9
☎03(3708)3114(代表)

京セラホームページ <http://www.kyocera.co.jp/>
コンタックスホームページ [CONTAX STUDIO]
<http://www.kyocera.co.jp/frame/product/optical/studio/default.asp>

(シルバー、ブラック)
メーカー希望小売価格 160,000円(税別)
ケース、ストラップ付

美しくだけでなく、機能だけでもない。
μ・新基準



ミューで撮ろうと決めました。

世界で一番薄い超スリム46mm

新発売



高倍率140mmズーム、薄型ボディ。

μ[mju:] ZOOM 140 DELUXE

ミュウ・ズーム140 デラックス
希望小売価格 ¥64,000 (税別)

本革ケース/本革ストラップ/リモコン付

※35mmフォーマット、3.7倍クラスのズームコンパクトの中で、平成11年5月現在。

自分で電池交換できる。(電池CR-1220 1個)

●本革ケース ●本革ストラップ ●リモコン(RC-200)

OLYMPUS
人から発想します。オリンパス

- 38~140mm・3.7倍ズーム
- 46mmの超スリムボディ
- 大光量&オートカラーバランスフラッシュ
- 生活防水

世界で一番薄い超スリム46mm

新発売



高倍率140mmズーム、薄型ボディ。

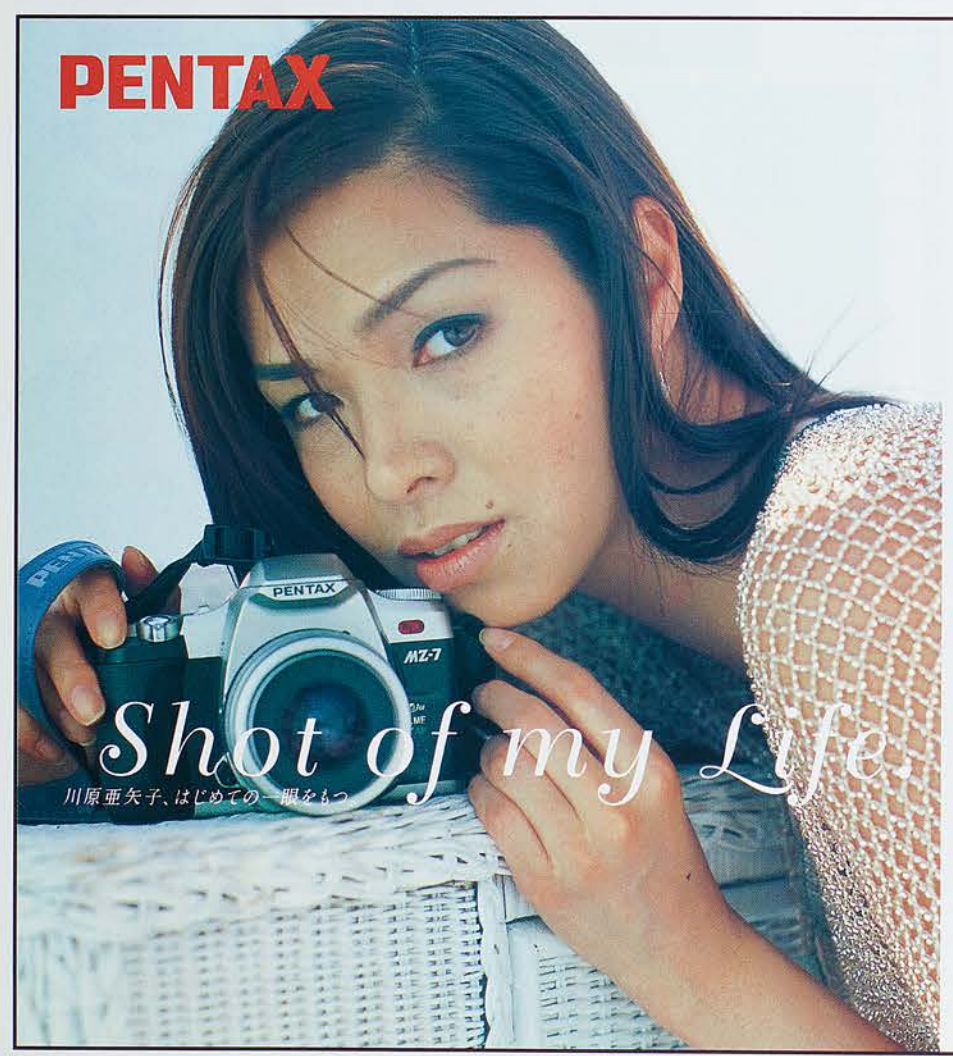
μ[mju:] ZOOM 140 DELUXE

ミュウ・ズーム140 デラックス
希望小売価格 ¥64,000 (税別)

本革ケース/本革ストラップ/リモコン付

※35mmフォーマット、3.7倍クラスのズームコンパクトの中で、平成11年5月現在。

PENTAX



Shot of my Life.

川原亜矢子、はじめての一眼をもつ

世界初!『光っておまかせプログラム』搭載。
超小型軽量・リモコン付AF一眼、デビュー。

光っておまかせ。

新発売



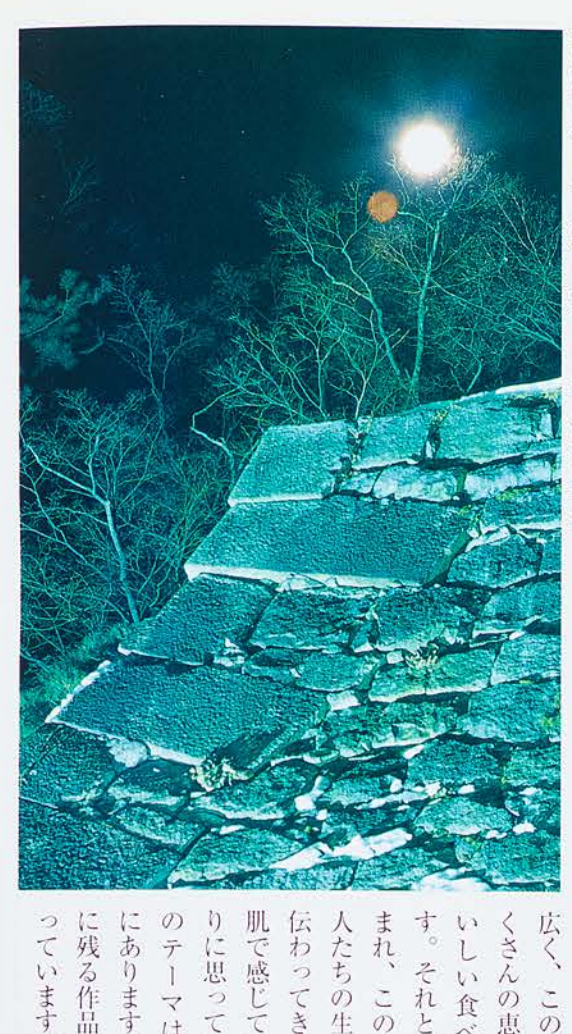
MZ-7

希望小売価格(税別) ●MZ-7ボディ-67,000円
●MZ-7 FAズーム28mmF3.5~80mmF5.6付 93,000円
●MZ-7 FAズーム35mmF4~80mmF5.6付 89,000円
※この広告で使用しているストラップは別売品です。

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 ペンタックス販売(株)
●この商品のカタログはペンタックスのホームページでご覧になれます。
<http://www.pentax.co.jp/>


盛岡市内 不來方城跡 石垣のライトアップ
気温マイナス10度、石垣は今年403年目を迎えます。

■カメラ:キヤノンEOS iN 70 f2.0 0.0 mm
絞リ: f18 シャッタースピード:オート フィルム:EB2



盛岡市内 不來方(すかた)城跡 秋の彩り
秋化粧をした石垣です。

■カメラ:キヤノンEOS iN レンズ18 f35 mm
絞リ: f11 シャッタースピード:オート フィルム:EB2



ぶらり
わが街

【岩手県盛岡市】

岩手県盛岡市
佐藤賢悦さん

写真を撮る趣味としていらっしゃる方々に、地元の名所や撮影ポイントを紹介していただいているこのコーナー。今回は「心に残る風景」の作品づくりを自ざされておられ、キタムラ主催の第7回春の花フォトコンテストではみごとグランプリを獲得された岩手県盛岡市の佐藤賢悦さんにご登場いただきました(カメラのキタムラ盛岡/上野店 黒龍)。

盛岡は転勤で住まいを構えてから12年になります。それまで海沿いの町ばかりに住まいを構えていたもので、海から遠く離れたところに住むのは初めての経験でかなり戸惑いを覚えました。

盛岡の特徴をひと言でいいますと、なんといっても寒暖の差が激しいところでしょう。最低気温はマイナス15度以下、最高気温は35度以上になります。なんとその差50度以上にもなります。こうした気候風土の元に住んでいる動物(人間を含めて)、植物は自己主張もするが、共に助け合って生きていかなければなりません。岩手は広く、この広い大地からはたくさん恵みがあります。おいしい食べ物も沢山あります。それと同時にこの地に生まれ、この土に眠っている先人たちの生き様がひしひしと伝わってきます。今、それを肌で感じていることを私は誇りに思っています。現在、私のテーマは「心に残る風景」にあります。何年経っても心に残る作品をつくりたいと思っています。

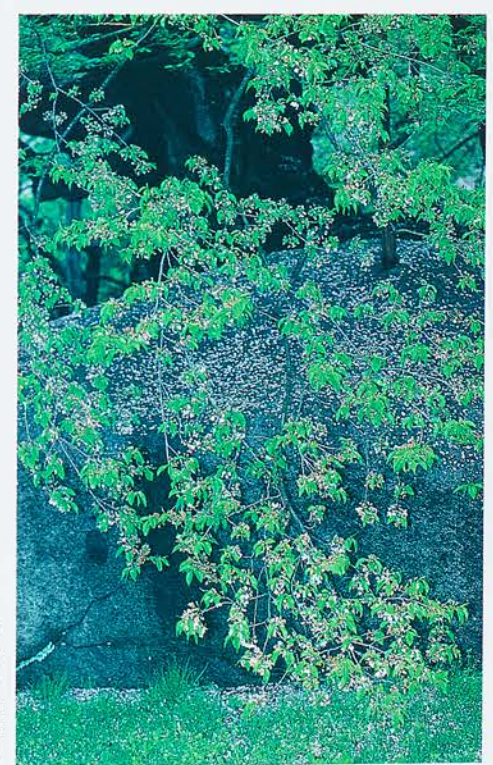
盛岡市郊外 日詰 見事な二本桜でした。

■カメラ:キヤノンEOS iN レンズ:28 f70 mm
絞リ: f19



盛岡市内 石割桜
100年前の先人たちもこの光景に心打たれたことでしょう。

■カメラ:キヤノンEOS-1N
レンズ70~200mm 絞リ:f5.6
シャッタースピード:オート
フィルム:RVP

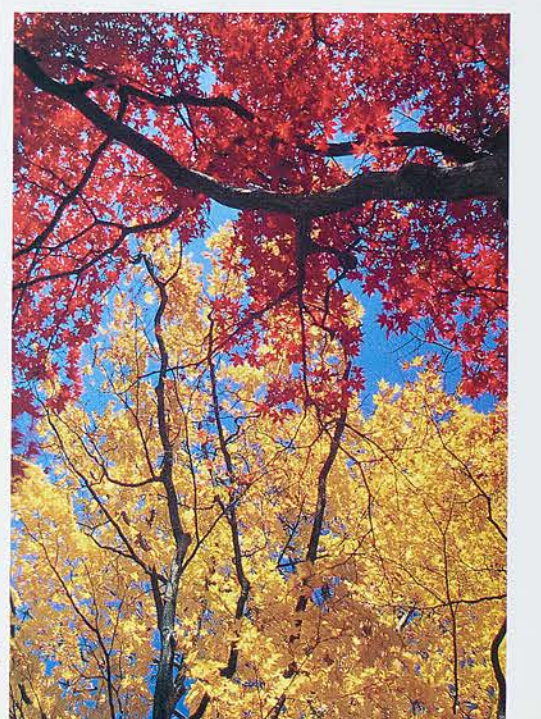


佐藤賢悦さん
写真を撮る始めて3年ですが、学生時代には油彩画に熱中し、県美術展、二科会中央展などに出品してきたことで「これが撮影の礎になっているのでは……」と語っておられます。今後については「自分の気持ち、自分の生き方を風景写真を通して表現したい。風景に出会ったとき、どんな表現ができるのかを追求し、一期一会の世界をクリエイティブしていきたい」とのことでした。



盛岡市内 不來方城跡 秋の彩り
秋の彩りはまさに錦絵のようでした。

■カメラ:キヤノンEOS-1N レンズ:18~35mm 絞リ:f11 シャッタースピード:オート フィルム:RDP II



佳作 (30名) 賞金1万円と楕



入賞 (300名) 記念品(箱巻)と楕

- 北海道
坂田誠二(札幌市)「もう、いい?」
久本育子(札幌市)「気持ちいいね!」
長谷川 清(札幌市)「遠足からの帰り道」
嶋田千佳子(札幌市)「リアカーで楽しいな」
番場裕治(札幌市)「楽しいね!水遊び」
斎藤亜希美(北広島市)「シート」
朴 運淑(苫小牧市)「おいしいね!」
大柳美枝(旭川市)「夜のおくが-KIDS」
古賀祐一(旭川市)「よさこい三人娘」
十川 達(旭川市)「おこさないでね」
河治まなみ(旭川市)「花マリ湖、ホク全開」
宇都宮和雄(函館市)「ハイ、ポーズ」
篠岡 伊都男(函館市)「ちょっとずまして」
笹野真彦(函館市)「でっかい空」
久松秀則(山越市)「気持ちいいね!」
西島啓吾(帯広市)「僕も球児」
榎田恭章(帯広市)「いー湯だな」
どろんご共同保育所(帯広市)「ウンおもしろい!」
重永優子(帯広市)「抱っこしちゃう」
秋国為八(帯広市)「遊ば」
番匠克久(釧路市)「やと、だっこできた」
松橋加奈美(釧路市)「プラコで"フー"」
前田 康(苫小牧市)「おっさなかさだよ!」
尾崎 紫(苫小牧市)「スイカって大きいね!」
- 岩手県
佐々木一義(盛岡市)「オニだそー!」
菅川健一(盛岡市)「梅おもしろ」
佐々木 修(盛岡市)「まなび」
菅原一(一関市)「おいしいよ」
斎藤三子(花巻市)「ほくのいたすら」
堀内澤 寛芳(釜石市)「ゴール目指して」
- 宮城県
横沢 正(仙台市)「日本男児」
高橋祐子(仙台市)「お・き・に・い・り」
佐藤拓夫(古川市)「最高の笑顔」
石川 要(石巻市)「渚の天使」
- 秋田県
石塚由紀子(秋田市)「仲良し」
五十嵐邦彦(平鹿町)「ぼくの夏」
高橋 寿(湯沢市)「小さっちゃい手」
- 山形県
渡部敬美(西置賜郡)「池のほとり」
安部友幸(西置賜郡)「真ん中、静かに」
田中深雪(山形市)「ハイ、ホクと野球しよう!」
村上 裕(山形市)「バク」
石山正浩(米沢市)「兄弟」
大道寺 市三郎(長井市)「乗れたよ!」
庄司紀子(山形市)「にらめっこ」
- 福島県
佐藤孝志(福島市)「天使」
鈴木裕子(福島市)「フー!」
園分 泉(福島市)「僕だけの海」
酒井 創(福島市)「あ、大きなしゃぼん玉」
江口真由美(福島市)「目にしみる」
戸田和子(会津若松市)「何が見える?」
原 三男(いわき市)「田舎の大公園」
- 茨城県
松本美和(北相馬郡)「わんぱくちゃん!」
- 栃木県
佐海忠夫(真岡市)「食べられちゃうよ」
- 群馬県
飯田邦彦(前橋市)「祭りの少女」
島田圭一(前橋市)「チャンバ」
井上孝雄(前橋市)「仲良し」
岸 美喜雄(勢多郡)「すてきな おへそ」
関 八十男(高崎市)「兄妹」
中島真一(太田市)「2人のあへん」
豊島秀明(太田市)「砂浜」
- 埼玉県
渡井鉄雄(佐波郡)「わーっ!」
- 埼玉県
堀玉 崇
高井未佳(草加市)「こいよーママ助けて〜!」
村田誠孝(川越市)「すくすく快足」
峯 裕和(川越市)「まじりの日」
川辺わか(入間郡)「食べちゃうぞ〜」
出山彦八郎(入間郡)「水遊び」
城所 賢(入間郡)「夏の思い出」
田中美津代(飯能市)「楽しい田植え」
阿部 孝(比企郡)「夏」
高野孝一(比企郡)「沢山取れたよ」
大野倫子(上尾市)「OH! ビーナス」
小林 清(熊谷市)「祭りの兄弟」
- 千葉県
高坂ひろみ(市原市)「あーん」
遠藤麻理子(長生郡)「わーい! にじだよ!」
東 英伸(千葉市)「気持ちいい!!」
若原喜仁(習志野市)「飛沫(しぶき)」
- 東京都
舟生みどり(青梅市)「きょうだい」
角谷充代(羽村市)「君も入る?」
小池祥子(町田市)「君って最高!!」
小室三喜雄(足立区)「ひとりぼっち」
- 神奈川県
石川恵子(横浜市)「ピース!!」
小野清治(横浜市)「はじらひ」
山本紅麗(足柄上郡)「イイだ!」
寺川 仁(平塚市)「わーっ、冷たい!」
- 滋賀県
高尾紀秀(大津市)「でっかいぞー」
北東幸男(八日市市)「おともだち」
山元昭彦(草津市)「シャボン玉」
西本道郎(赤穂郡)「暑いくらい!」
- 京都市
小川健彦(京都市)「水遊び」
佐藤由美(京都市)「くすくす」
安藤 勇(京都市)「はい、こんにちは」
中野博司(宇治市)「雪遊び」
辻本英樹(宇治市)「おいしい、やめて〜」
川 幸夫(亀岡市)「おふろあかり」
堀出鉄男(相楽郡)「ホラ、見て」
- 大阪府
辻 典明(大阪市)「涼を求めて」
辻 恵子(大阪市)「小さなお願い」
山下治郎(大阪市)「スプーン」
陣輝(大阪市)「初対面」
神田和幸(大阪市)「大好き!」
高越明美(守口市)「ブク ブク ブク……」
宮崎久美(八尾市)「お楽しみします」
永見正樹(八尾市)「バー!」
才崎信吾(八尾市)「祭りの子」
村瀬 忠(堺市)「寒さおどろけ」
西條聡子(堺市)「こっぴげ〜ん!!」
八木さおり(堺市)「お兄ちゃんまって!」
斎藤美和(堺市)「お魚が はねるヨ!」
伊東美恵子(泉佐野市)「あくび」
萩野康子(泉佐野市)「双子」
戸口和治(阪南市)「笑顔」
安藤吾彦(高槻市)「前歯が生えて来た」
行司千鶴(高槻市)「えっ何か違う?」
栗谷博美(東淀川市)「水しぶき」
岡口初代(大東市)「お兄ちゃんのいい顔」
- 兵庫県
坂野 隆(姫路市)「仲良し」
小山 茂(姫路市)「お庭の水遊び」
山本待子(宝塚市)「ほくの宝物」
大野てる代(明石市)「踊る」
都築義之(加古川市)「はにかみ」
眞野英樹(加古郡)「森の妖精」
- 秋田県
秋村涼子(西宮市)「仲良し足 おいしよ!」
藤田圭三(高砂市)「おめ替えてあげようね〜」
清川礼子(三原郡)「ひまわりの笑顔」
高谷健司(洲本市)「シャボン玉」
久保智恵子(赤穂郡)「水遊び」
- 奈良県
仁科容子(奈良市)「シャイなぼく」
中川リエ子(橿原市)「お手伝い」
日浦良子(天理市)「キャー! やめてー!」
田中 晃(生駒市)「シャワー」
川井京子(北葛城郡)「おいしいの!」
- 鳥取県
池上恵文(倉吉市)「覗いこまそー!」
山本 清(米子市)「泥んこ遊び」
竹川豊彦(八頭郡)「傘おどろ」
妹尾辰雄(西伯郡)「なかつし」
- 島根県
桐原 彬(出雲市)「夏の日」
吉岡直樹(隠岐郡)「川遊び」
小畑 博(松江市)「妹(しまい)」
和田和美(松江市)「風呂大好き」
橋本 博(大原郡)「魚取り」
- 岡山県
寺井 紀(岡山市)「真夏日」
山下忠彦(岡山市)「水遊び」
飛木美和子(岡山市)「えい!」
斉藤光弘(岡山市)「わあ気持ちいい」
乙倉 堅(岡山市)「こちゃんおたのしみ」
森安 林(岡山市)「つれるかな」
草地区仁史(岡山市)「水遊び」
遠藤 宏(岡山市)「シャワー」
前田真理子(邑久郡)「スイカおいしいぞー」
西本道郎(赤穂郡)「暑いくらい!」
横山敏之(倉敷市)「照れる香葉ちゃん」
萩原秀政(倉敷市)「ふれあい」
佐保弘子(総社市)「小さなリヤカーひき」
岡山麻紀(総社市)「ピース」
岡本真理(総社市)「お兄ちゃん ちょうだい!!」
片岡正志(吉備郡)「K子ちゃん」
福本昌昌(高梁市)「おふるあかり」
武下信夫(玉野市)「ちびっこ」
西原嘉宣(笠岡市)「はにかみやさん」
林原恵恵(久米郡)「あーん、つめたいよ〜」
- 広島県
賀中義隆(広島市)「動けないヨー」
佐保弘子(広島市)「ハイ」
来山尚義(広島市)「あの頃」
村井尚子(広島市)「あっぱる」
宮野順一(広島市)「兄弟」
田原珠美(広島市)「わーっ、きれい!」
原田哲夫(東広島市)「おふろ待ち!!」
原田万穂子(東広島市)「盆踊り」
若年幸子(竹原市)「今度はお兄ちゃんかきよ」
及川フミ(福山市)「水しぶき」
黒部紀子(福山市)「たすけて〜ムギョ!」
渡辺真里(福山市)「ふわあ〜」
鳥越 修(福山市)「陽気な姉妹」
藤井 熱(福山市)「見える」
藤井達文(福山市)「なかつし」
山本悦子(福山市)「海だー」
小山美津子(尾道市)「水遊び」
村上 晃(尾道市)「滝すべり」
塚崎雪絵(尾道市)「夏の午後」
遠矢清美(三原市)「あ、あ、あ、大スキ!!」
山中久子(三原市)「祝、入園」
藤原敬明(三原市)「初めての乗馬」
中山詔治(三原市)「おすなよ!!」
友泉和美(因島市)「アハハハ、おかしいの!」
永島秀記(廿日市市)「ハイ、あ〜んして」
- 中津勝弘(府中市)「構える幼女」
- 山口県
一色信男(下関市)「ボクの田植え体験」
増田直樹(山口市)「チャレンジ」
吉崎 博(宇部市)「そら行くぞ」
石井晶子(宇部市)「いっしょうけんめい」
伊藤正和(小野田市)「お母さんナニー」
磯部千恵子(徳山市)「いないいないバ〜」
山口光泉(徳山市)「たいくつなお姉さま」
真弘文明(徳山市)「秋だ、1番だ」
田沼恭志(徳山市)「オー!! ベンチャン」
弘重典彦(柳井市)「おたまじゃくし、おる?」
村井晶子(柳井市)「雨だけだ〜」
深野誠司(防府市)「祭りのあと」
- 徳島県
出口真彦(徳島市)「ぶらうらりん」
栗田ふさえ(徳島市)「仲良しさん」
増田由加利(鳴門市)「つめたくて、きもちいい」
白藤恵子(鳴門市)「はじめてのトンネルほり」
山本正志(那賀郡)「水遊び」
- 香川県
塩田雅雄(観音寺市)「運動会」
松原隆彦(高松市)「天まで登れ!!」
- 愛媛県
堀内八祐(松山市)「のこった、のこった」
野手洗弘子(松山市)「このお庭は最高だ」
今山和恵(松山市)「お散歩」
山根和美(西条市)「見て、見て、あつぱあつぱ」
三崎光行(西条市)「おまじないおまじない」
塩崎尚史(新居浜市)「魔法の宅配便」
三谷 守(新居浜市)「おすまし」
曾我部 能憲(今治市)「早くのけてよー」
- 高知県
福田芳孝(須崎市)「仲良し2人」
中野幸江(幡豆郡)「ちょっと せわらせて」
- 福岡県
内川満二郎(福岡市)「のど、かわいた?」
武内一郎(福岡市)「いてー!」
池田利広(筑紫野市)「3男坊」
浅利圭子(筑紫野市)「花火でドカーン」
江口京子(柳井市)「一休み」
瀬田広美(北九州市)「水あそび」
早野正也(中間市)「祭りの日」
川原英典(久留米市)「草スキー」
間原藤男(久留米市)「寒はいこ」
笹川正明(久留米市)「お友達はまだかな?」
田代和(八女郡)「ほくにも釣れたよ!」
和田美也(春日市)「バクリ」
八野 弘(田川市)「モモちゃん」
坂田 哲(大牟田市)「RING」
山下遊大(前原市)「少年達の夏」
- 佐賀県
大車明子(杵臼郡)「THE おちんちんスターズ」
- 長崎県
谷口嘉則(佐世保市)「水掛け地蔵」
- 熊本県
黒瀬博泰(熊本市)「ちびっ子芸術家」
富田吉紀(上益城郡)「チュ チュ」
清水玲子(阿蘇郡)「虫さされ」
- 大分県
佐藤美幸(大分市)「無題」
田原嘉子(大分市)「何があるのかな?」
- 宮崎県
山口由佳(都城市)「無敵の笑顔」
坂下裕幸(北諸郡)「帰りたいよー」
- 沖縄県
山本芳都(沖縄市)「夏の終わり」
- 静岡県
中野元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山梨県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 長野県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 新潟県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 秋田県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 山形県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福島県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 茨城県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 栃木県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 群馬県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 埼玉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 千葉県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 東京都
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 神奈川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 静岡県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 愛知県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 岐阜県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 富山県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 石川県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん?」
- 福井県
野中 元(阿藤郡)「どうしたの 漢くん

冬の写真を楽しもう

— 便利な撮影道具と写真整理 —

冬は意外と撮影チャンスが多い時期です。寒さが雪と氷を運んでくれます。

この冰雪のモチーフは数限りなくあるでしょう。

晴天の日には空気が澄み山々の素顔も一段ときれいです。

冬ならではの景色があなたを呼んでいます。

今回は、冬の撮影を確実に、楽しくさせてくれる撮影道具を主体に取り上げるとともに、リバーサル写真の整理についても掲載しています。



冬の撮影は風景ばかりでなく、正月、スキー、成人式など人物、スナップなど題材が豊富にあります。いろいろなジャンルで楽しめる時期ですが、やはり冬景色は見逃しがたいモチーフです。特にリバーサルでの撮影に適した時期にあるともいえます。空気が澄んでいしますので、透明感の高い写真が得られます。

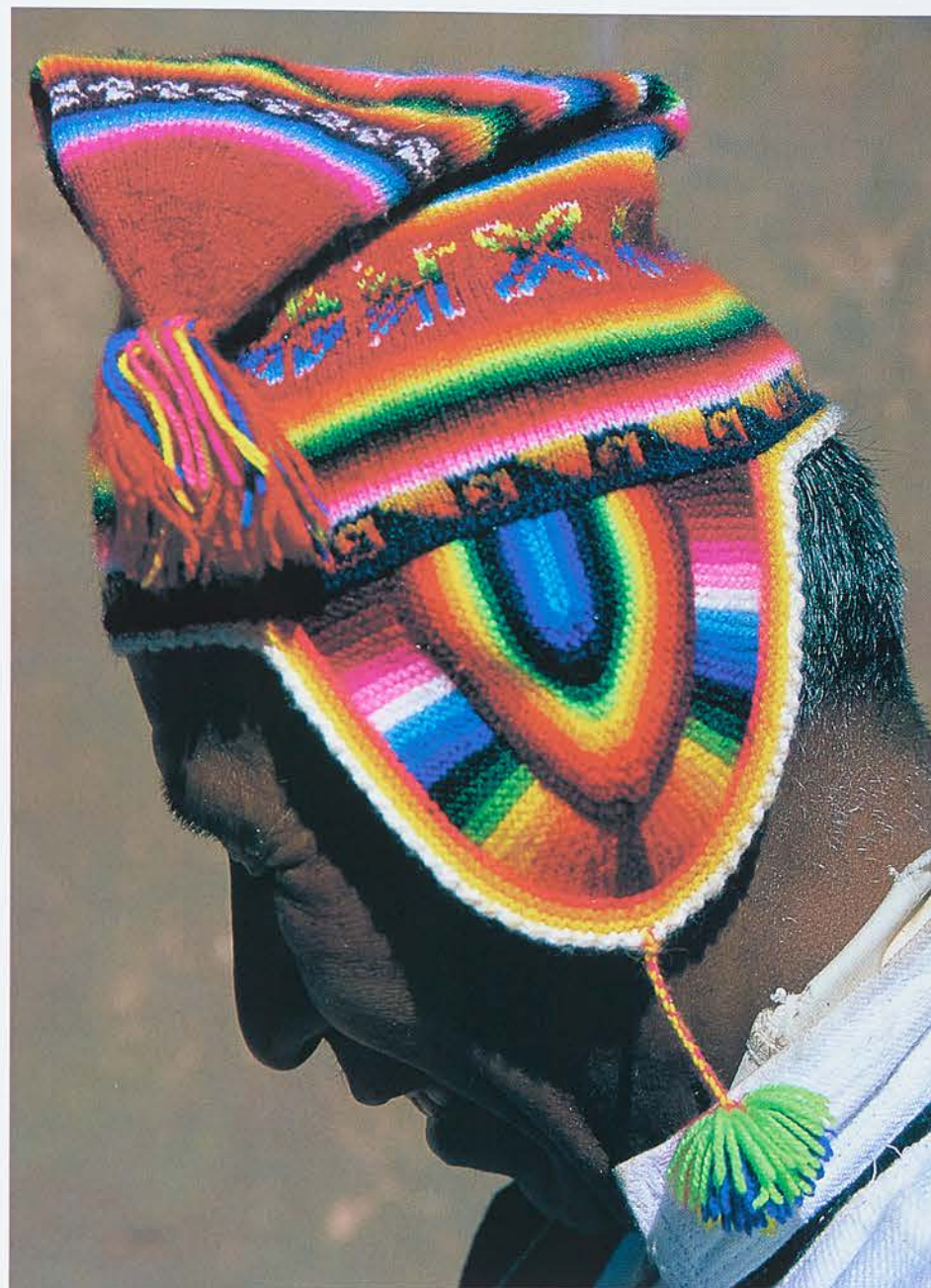
この冬の撮影は、都市部ではさほどの準備をしなくてもほとんど問題はありませんが、野外での自然環境を活かした景色となりやすくと、気温や天候には注意を払わなければ、撮影どころではなくなるかもしれません。冬なりの装備が必要になってきます。朝夕にねらいを定める撮影や山間部、北国、スキー場などでは低温対策が重要です。

また、特定の季節に限ったことではありませんが、撮影のねらい目を明確にするのもポイントです。特に冬らしい景色を撮る場合は、寒さを計算に入れて気持ちに余裕を持たせることも傑作を写せる要因になります。それには撮影の対象となる被写体の環境条件を前もってイメージに描いて臨むことが大切です。

例えば、朝日が昇る逆光の景色であれば、山や木々のシルエットを活かす場合を思い浮かべ、露出はどうするか、画面構成はどうするか、また、朝日をまともに撮るのか、やらずらして撮るのか、といったイメージトレーニングをしておく、撮影現場に臨んで的確な撮影ができるようになります。さらに加えるならば、期待通りの天候でなかったらどのような撮影するのかもイメージしておけば気分的にも余裕ができて、ガツガツすることなく自分の能力を発揮したそれなりの撮影ができます。

さらにリバーサルの撮影では露出の差によって空の色が左右されることから、失敗を避けるために段階露光も必要でしょう。その設定値もある程度、頭に入れておくとういでしょう。新しいカメラで不慣れた場合、オートブラケティングの使い方や操作も再点検しておきたいものです。雪景色や逆光での撮影は、カメラまかせのオートだけでは心もとないことも頭に入れておきましょう。

機材の寒さ対策も忘れることはできません。特に電池は寒さに弱く、マングン電池などは氷点下になっただけで、使いものにならなくなります。さらにカメラ、レンズは寒いところから温かい場所に入ると、結露ができ、撮影に大きな支障をきたしますので、充分な注意が必要です。



OUR
WORLD

600年たっても、その色彩は決して古びない。アンデスにて。石川武志/1950年、愛媛県生まれ。東京写真専門学校卒業後、ユージン・スミスに師事。1975年渡米後、フリーランスとなる。現在は、インカやマヤなど、古代文明の遺跡や末裔、祭りをテーマに創作活動を展開。
撮影データ：シグマ28-300mm F3.5-6.3 DL ASPHERICAL IF HYPERZOOM、1/250秒、F5.6

石川武志が世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

ティティカカ湖のタキレ島。島の民が織る柄や色合いには、遠く14世紀、インカ時代の名残がある。その美を捉えたのは、シグマ。独自の多重構造内焦式ズームシステム採用でズーム倍率10.7倍を達成、被写体の多様な変化にも対応でき、シャッターチャンスを逃さない。SLD(特殊低分散)ガラスなどの採用で高い光学性能を実現したコンパクト設計の超高倍率ズーム。



●AF希望小売価格(税別):69,000円、パーフェクトフード付、シグマSA用、キヤノンEOS用、ニコン用、ミノルタA用、ペンタックス用

被写体のさまざまな変化にも対応できる、超高倍率ズームレンズ。

SIGMA 28-300mm F3.5-6.3 DL ASPHERICAL IF HYPERZOOM

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都船橋市岩戸南2-3-15 tel.03(3480)1431まで。シグマ ホームページアドレス <http://www.sigma-photo.co.jp>

冬の写真を撮りましょう

これが、冬のカメラマンスタイルだ!

冬場の撮影はココがポイント

カメラは、室内から屋外へ持ち出す分には問題ないのですが、逆に屋外から室内へ持ち込むとレンズが結露してしまいます。しばらく暖房のしていない場所に置いてなじませるようにしましょう。

冬場の撮影はココがポイント

カメラの防寒も忘れず! タオルなどで包むとよいでしょう。

ボクも
しっかり
防寒してね!

冬場の撮影はココがポイント

冬場はバッテリーが切れやすいので要注意。予備のバッテリーを必ず用意しましょう。

と、撮れません...
電池切れ...



カイロも
忘れないように

三脚には
スノーシューを

帽子は
目もカバーできる
防水タイプ

**可能な限り
軽量化を
はかることも
ポイント**

手袋にも
ひと工夫
厚手のものの下に
薄手のものをつけて、
上の手袋をとるだけで
撮影できるので
便利

下着類で保温性を高め、
上着は動きやすいモノを

リュック・
バッグは
防水タイプを

防寒レインコートを入
れておくと安心

スノーウェア
スポンが
理想的

靴はトレッキングシューズが、
スパイクがあるものを

冬の写真を楽しもう

リュックにもなるカメラバッグが便利

カメラやアクセサリの出し入れが頻繁になると予想される場合、バッグはショルダータイプが便利です。安全優先を第一に考えるならジューラルミンのガッチリしたものになるでしょう。

雪のある場所や厳寒地では防水タイプで、長時間背負っていても疲れにくいリュックタイプが向いています。ある程度の出し入れを考慮して、ショルダーにもリュックにもなるタイプが便利です。寒さを防ぐ衣類を入れておくことも考慮すると、大きめのバッグがいいでしょう。



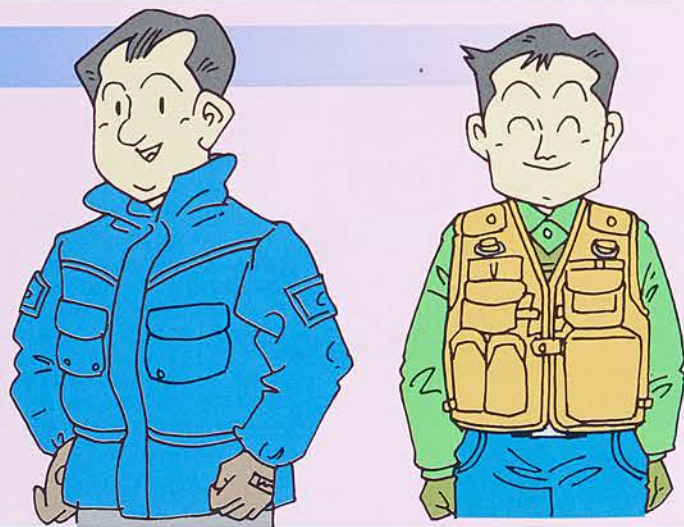
雪にも負けない防寒用レインコート

カメラ用レインコートには、カメラだけを濡らさないようにするタイプと、自分もスッポリ入れるタイプがあります。撮影目的によって異なりますが、夜間の撮影などでは自らも覆ってくれるタイプを選びたいところです。ただ単にカメラが濡れることを防ぐためだけなら、水中ハウジング用でもいいでしょうが、やはり防寒も考慮したレインコートが有利です。防水タイプ、防寒・防音を目的としたタイプなどがありますから、冬以外での撮影も考慮して選ぶとよいでしょう。

フィールド用カメラマンコートも

防寒用にはダウン製など様々なブルゾンがありますが、撮影を考えると、やはり専用のコートがあると便利です。ポケットが豊富で使い勝手がまったく違ってきます。プロカメラマンの中にはカメラマン用ベストを着て、その上に大きめのダウンコートを着ている人もいます。このベストも種類が豊富にありますので、防寒着の下に着るのもひとつの方法といえます。

なお、手袋は極寒の地では、防寒用の厚手の下に、指を動かすのに容易な薄いものをしていて、厚手を取ればすぐに撮影できます。



結露の防止対策

寒冷地で暫く使用しなかった場合などではフィルムを入れる前に、カメラが作動するかのチェックをしましょう。暖房の効いた温かい部屋から寒い外へ出る時はほとんど問題ありませんが、この逆はカメラ、レンズに結露現象が生じますので要注意です。保護カバーやビニール袋に入れて暖房のしていない場所で1時間以上置いて、室温になじませるようにしてください。

大事なカメラ、レンズを一時も手放したくない時は、暖房のしていない場所に置いてあった保冷(保温)バッグ(クーラーボックスでは外部と完全に遮断されますので、保冷効果の弱いビニール性の簡易バッグがよい)に入れて部屋に持ち込む方法があります。開ける場合は部屋に持ち込んで2~3時間以上たってからにします。



雪面ではこのフィルターがおすすめ!

雪や氷の撮影は光との戦いといっても過言ではありません。反射光が邪魔になったり、明る過ぎたりしますが、逆にこの光をいかに活用するか、いかに味方に取り入れるかで、写真の善し悪しを大きく左右します。特に雪景色では光の扱いいかんで立体感を出せるか、平面的な写真になってしまうかが決定します。

様々な景色の中で、光の反射を抑えたり、クリアな空気感を出したりするには、露出の調整だけでは解決できない部分といえます。それを可能にするのがPLフィルターです。実際の色をハッキリ描写させたい時に特に効果があります。冬景色では青空と雪との色彩コントラストをより鮮やかに再現してくれます。
※AFカメラはサーキュラーPLを使用してください。



PLフィルター

NDフィルター

スキーの時のビデオ撮影には必携です。



雪上での三脚使用にスノーシュー

冬の撮影では意外と三脚の出番が多くあります。雪山や雪景色を望遠でねらう時、三脚で確実な撮影をしたいところです。しかし、雪上ではしっかりと固定するのが難しいケースがしばしばあります。そんな時の味方に三脚に履かせるスノーシュー(発売元:スリック)があります。新雪など柔らかい雪質に特に効果があります。安定性が高くなり、転倒防止にもなります。厳寒の外気に三脚をさらした場合、金属部分を素手でさわれない時があります。その防止に三脚に巻くテープもあります。

内ポケットに入れられる外部バッテリー

寒い場所ではカメラ、ストロボなどの電圧が低下して、作動しない場合があります。カメラを防寒グッズで守ったり、電池ボックスをカメラから切り離して、肌身のポケットに入れて保温するアクセサリもあります。



電池が作動しなくなる温度の目安

マンガン電池	±0°Cで不動作
アルカリ電池	-5°C以下になると電流が細くなり、 -10°Cで不動作
ボタン電池	-10°C前後で不動作
リチウム電池	-20°Cで不動作、 -10°C程度ならば問題なし

注) 保管状況によっても不動作温度に変化を起こす場合があります。例えば、ボタン電池でも-5°Cの場所に長時間放置した場合、電池そのものが冷えすぎて不動作を起こします。(データ出所:日本電池工業会)

今やカメラにとって電池は欠くことのできない存在ですが、寒冷地ではこの電池性能が急に落ちる場合がしばしば起きています。撮影の途中で電圧が低下して、カメラが作動せずにシャッターが落ちなくなったり、露出の制御が効かなくなることもあります。また、寒冷地では電池の内部抵抗が高まり、常温よりも早く消耗することも覚えておきましょう。電池類は体温やカイロで温めておくことが常識化されています。長時間、カメラを寒気にさらす場合は、撮影時に電池を入れることも考慮するとよいでしょう。

番外 電池異聞

冬の写真を楽しもう

うまく撮るための写真整理

整理上手は撮影上手

写真の整理はとかく後に回されがちです。時間が経つにつれ面倒になったのでは写真が泣いています。撮影の上手な人ほど、写真を整理して大事に保管しています。整理されていますと、自分の写真を容易に比較でき、どこが良かったのか、悪かったのかなどの検討もしやりやすくなります。

●写真選択に重要なライトボックス

まず、カラーリバーサルフィルムに必要な品として挙げられるのが「ライトボックス」です。写真に重要な役割を果たしているわりにはとかく軽視されがちです。

●ライトボックス選びの基本

第1に、正確な色再現ができること。太陽光に近い色温度が理想的です。



第2に適正な光量が挙げられます。光量が不足していればアンダーに、また、明る過ぎればオーバーに見えます。明るさにも基準があります。第3は選択面の明るさが

均一であることがあります。複数の写真を並べて比較する時に均一に見られなければ、判断を狂わせる要因にもなります。

また、大きさについては理想としては36枚撮1本を並べられることですが、手持ちのスライドフィルム1枚の大きさに合わせることもひとつの方法といえるでしょう。

●ルーペは大きい視野で確認

写真を大きく見るだけなら虫眼鏡でよいでしょうが、写真の周囲が湾曲して見えたり、適正な色が出ません。やはり写真用ルーペがおすすめです。4〜12倍ぐらいまで、種類は豊富にありますが、理想的には周囲の歪みが出ずにフィルムのひとつコマがスミズミまで入るのがいいでしょう。

●リバーサルフィルムの整理用品

写真の整理は捨てるのがコツといわれ「これ以上、捨てられなくなった状態が自分の歴史」と、語る人もいます。リバーサルを整理するための用品は数限りなくあります。バインダータイプ、ファイリングタイプ、ボックス型の収納タイプなどがあります。好みや事情もあるでしょうが、比較したり、見やすいということが一番です。シートとして取り出せるバインダータイプがセットされたシステムチックな製品がおすすめです。

全国写真クラブ紹介

キヤノンクラブ帯広支部



- 設立 1981年6月1日
 - 会員数 28名(支部長・北畑徹大)
 - 活動 毎月の例会、年2回の撮影会及び研修会、年1回の「秀作展」など
 - 場所 北海道帯広市
- メーカー系クラブの利点は、使用カメラが同じですから撮影会などでレンズの貸し借りができることです。また、全国ほぼ同じ内容で運営されているので、移転した場合などに、最寄り支部への入会が簡単で、他の会員ともすぐに親しくなれますし、中央で活躍されている写真家の先生に、自分たちの作品を直に批評・アドバイスもしていただけます。年2回の撮影会や研修会も魅力になっています。撮影会では、仕事の都合などで会員全員が参加する機会が少ないのが残念ですが、作品の添削を中央の先生にお任せしていることもあって、懇親会のようなごやかで、仲間の和を大切にしています。月例の作品で指導を受ける先生は、3年ほどの間隔で替わられますが、現在は桜井始先生に指導を受けています。先生方が北海道に撮影に来られた際に、お会いすることができ、直接お話をうかがえることが会員の楽しみになっています。毎月送った作品が、どのような評を受けて戻ってくるか……そのことに一喜一憂しながら、過ごしております。

サークルBEE沖縄支部



- 設立 1996年3月
 - 会員数 20名(代表・すなべしろう)
 - 活動 毎月第1・第3木曜日の定例会、年20回程度の撮影会
 - 場所 沖縄県中頭郡
- 写真家の蜂須賀秀紀先生の指導を受け、3人で始めたこのサークルも、現在では会員が20名に増えました。公募展や月例コンテストなどに応募することで、会員の輪を広げてゆくことを目的としております。月2〜3回、年20回程度の撮影会で、プロの写真家の先生や、ハイアマチュアとの交流をはかり、写真技術の向上に努めています。また、毎月第1、第3木曜日に行っている例会では、会員の写真をスライドプロジェクターで見ながら、お互いに意見交換をして、楽しく勉強しています。

ACルーペ 4X

色収差を押さえたアクロマートレンズ使用の高級型で、接眼有効径32mmを確保した見やすいルーペです。

ハクバ写真産業株式会社
 ●倍率: 4倍 ●レンズ有効径: 32mm
 ●レンズ構成: 1群2枚(アクロマート)
 ●視度調整機構付
 ●サイズ: 50×88mm(視度調整中間値)
 ●重量: 約100g
 [メーカー希望小売価格 5,700円]

カラーイルミネーターLite

使いやすい大きな照明面。薄い、軽い、超スリムなスタイル。

フジカラー販売株式会社
 ●本体材質: ABS樹脂製
 ●照明表面材質: アクリル
 ●光源: 特殊蛍光灯2本使用(平均寿命7,000時間)インバーター点灯
 ●外形寸法: タテ284×ヨコ434×厚さ28mm ●照明面寸法: 240×310mm
 ●重量: 1.2kg ●電源: AC100V、50/60Hz共用 ●2.0mコード
 ●消費電力: 17W ●キャリアバッグ付
 [メーカー希望小売価格 27,800円]

スライドファイル35mm200景

スライドをコンパクトに整理。

フジカラー販売株式会社
 ●ビニルレザー張りボックス入り
 ●サイズ: 317×260×54mm ●重量: 930g
 [メーカー希望小売価格 2,400円]

ドームルーペ

ハクバ写真産業株式会社
 ●倍率: 3.5倍(レンズ直径60mm)
 [メーカー希望小売価格 3,000円]

ライトボックスNEW5000

薄くなって、使いやすささらにアップ。

フジカラー販売株式会社
 ●本体材質: スチール製、焼付塗装
 ●光源: 蛍光灯10W 2本使用(平均寿命5,000時間)
 ●外形寸法: タテ360×ヨコ285×厚さ60mm
 ●照明面寸法: 298×245mm
 ●重量: 2.2kg
 ●電源: AC100V、50/60Hz共用
 ●1.5mコード
 ●消費電力: 20W
 ●フィルム押さえ用ゴムマグネット付
 [メーカー希望小売価格 11,000円]

スライドファイルスリーブ35mm

スリーブ処理の35mm7段シートを、広げたままファイリング!

フジカラー販売株式会社
 ●ポリプロピレン製表紙
 ●金属(4穴)バインダー式
 ●35mm7段シート対応ポリプロピレン製ファイリングシート10枚 ●背出し付
 ●サイズ: 392×305×40mm ●重量: 970g
 [メーカー希望小売価格 2,800円]

スケールルーペ 10X

ハクバ写真産業株式会社
 ●倍率: 10倍
 [メーカー希望小売価格 1,600円]

ライトビューア-5700

パーソナルユースからビジネスシーンまで、携帯性にすぐれた超薄型デザイン。高演色性、インバーター内蔵でプロユースに対応する携帯型です。

ハクバ写真産業株式会社
 ●外形寸法: タテ154×ヨコ245×厚さ18mm
 ●相関色温度: 5000K インバーター内蔵
 ●照明面寸法: 180×130mm
 ●重量: 500g(電池含む)
 ●電源: 単3アルカリ乾電池4本(付属)
 ●専用キャリングケース付
 [メーカー希望小売価格 8,200円]

ボーイのまままで。

ときどき、いる。少年のような眼をしたオトナ。プリミティヴな感性と精神を守りつつながら生きていくオトナ。彼には、少年にしか見えないものが、いまだに見えている。

キヤノンオートボーイが誕生して、20年。

時代が移り変わるなか、オートボーイには守りつづけてきた1つのエッセンスがある。それは、撮る喜びと持つ楽しさをきわめてこそカメラであるという、キヤノンのこだわり。1999年秋、新オートボーイ完成。

ひととき鮮明な映像を生みだすための非球面レンズを採用した、高画質3.2倍ズーム。好みの撮影スタイルに合わせて自由な設定ができる、新搭載パーソナル・モードなど。先進の才能を、黒とシルバーを基調とした精悍なフォルムに凝縮。

オートボーイ不変のエッセンスから生まれた、コンパクトカメラの新しい進化がここにある。キヤノンオートボーイ120誕生。



Canon Autoboy 120

メーカー希望小売価格 ¥46,000 (リモコン・ケース付き、税別)
●カタログのご請求は、ハガキで〒108-8011 東京都港区三田3-12-15 東急三田ビル キヤノン販売株式会社120係へ、どうぞお気軽にお申込みください。
「キヤノン販売ホームページ」 <http://www.canon-sales.co.jp/>
キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

コンパクトなフォルムに先進の才能を凝縮。

- ①小型・高品位な金属外装・ネオクラシカルデザイン。
- ②GMφ非球面レンズ採用、高画質38-120mm 3.2倍ズーム。
- ③パーソナルモードを新設したベストショットダイヤル。
- ④ハイブリッド・3点測距デュアルAiAFをはじめとする高機能。
- ⑤±1.5EVのマニュアル露出補正。
- ⑥視度調節機構付き(-3~0dpt.)ファインダー。

コンパクトカメラの最高品質へ。キヤノンオートボーイ120誕生。

写真はもっと楽しく、豊かになる。キヤノンクラブ



キヤノンクラブ入会のご案内

キヤノンクラブは、写真の好きな方、もっと写真を楽しみたい方の集まりです。毎月お届けするクラブ誌「キヤノンサークル」は、プロの作品を紹介する巻頭特集をはじめ、実践的な撮影テクニックを学べる「EOS学園」、月例コンテスト、キヤノン製品の最新情報や技術レポートなど、楽しい読みものを満載しています。また年に一度の集大成として写真年鑑「キヤノンアニュアル」を発行。さらに、プロ写真家とともに行く撮影ツアーや写真教室も開催し、豊かなフォトライフを提案しています。どうぞお気軽にご入会ください。

●お問い合わせは、キヤノンクラブ事務局まで。詳しい資料をお送りいたします。【入会金】1,000円 【年会費】8,000円(税込)
キヤノン販売株式会社 キヤノンクラブ事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-9 TEL.03-3571-7388 FAX.03-3573-7825(土・日・祝日は休ませていただいております。)

作品集『わたしのニッポン遺産』

(毎日新聞社刊)

'99年12月8日 全国の書店で発売開始!

カメラのキタムラと毎日新聞社が、西暦2000年を記念して編集を企画した『わたしのニッポン遺産』が、いよいよ12月8日から全国の書店で発売されます。「21世紀に残したい、わたしたちの今」というテーマのもとに、全国から寄せられた、家族や地域行事、祭り、建物や風俗といった幅広い内容の作品総数は、実に20,132点。身近な日常を通して、日本の今を記録したこの本は、「写真の万葉集」と言っても過言ではありません。ぜひ一度、手にとってご覧になってください。

価格
1,800円
(税別)



フォトGazoショップオープン!!

素敵なポストカード、
グリーティングカードをつくりませんか?

オフィスやお部屋に
素敵なフォトを飾りませんか?

フォト画像ダウンロード販売、フレーム付きフォト販売を始めました。
<http://gazo.kitamura.co.jp> にアクセスしてください。



緊急告知!! 新・写真誌 創刊

あなたの「クラブ・サークル」を大募集

2000年3月、読者投稿の写真を中心にした写真誌が創刊されます(年4回発売・双葉社刊)。これまで「カメラのキタムラ」で展開してきたフォトコンテスト(春の花、秋の彩、子ども&赤ちゃんすくすく、ペット・動物ふれあい)をメインにした新写真誌です。そこで、本誌に登場していただける全国各地で活躍中の「あなたが所属しているクラブ」を、発刊前に大募集しています。掲載は毎月1~2クラブをクロスアップ、その他にも文字データで可能な限りクラブ情報を掲載する予定です。クラブ員の募集など交流の場として、ぜひお役立てください。詳しくは募集要項をご覧ください。

- 募集要項 ①クラブ名②代表者名③会員数・創立年④連絡先(住所+電話番号)⑤クラブ紹介(活動内容やクラブの特徴など400字程度でお書きください)⑥わがクラブの名物人物(クラブ内の人気者を一人ご紹介ください。写真とその理由を100字程度お書きください)⑦集合写真(8クラブ員の作品(5~10点程度。返却を希望の方は、切手貼付の上で返却用封筒を同封してください))
- 応募先 〒162-0065 東京都新宿区住吉町10-13 KRビル ナイスク内 新写真誌「クラブ募集」係

お手持ちのカメラやレンズを、

高価下取り・ 買い取り

いたします。

詳しくは、
お近くの
カメラのキタムラ
までお問い合わせ
ください。

編集後記

田中先生の特集はいかがでしたか。雪は一見すると、すべての風景を埋め尽くして単一な景色に変えてしまうように思われますが、実はその雪が、様々な色や表情を見せてくれることを、先生は豊富な経験を通して教えてくれました。「温泉地は冬の撮影に適している」という先生のアドバイスを受けて、皆さんもこの冬、温泉に暖まりに出かけてみてはいかがでしょう。撮影の際には「近場で冬場の作品はできる」という先生の言葉を忘れずに、くれぐれも危険な場所に足を踏み入れて、怪我などなさないように十分にご注意ください。

今号から4回にわたって、路上観察の連載がはじまりました。写真を通して、なにげない町の景観の中に不思議な世界を見つけてゆく路上観察。第1回目は作家・イラストレーター・デザイナーと多方面に活躍されている林氏にご登場いただきました。穏やかな口調で「子どもの頃から様々なことに興味を持っていました」と語る林氏は、生まれながらの路上観察者なのかもしれません。読者の皆さんも、これを機会にお住まいの周辺を、新たな気持ちで観察されてはいかがでしょう。あるいは写真が、読者の目に見えなかった景色の中から、まったく違う世界を見つけ出してくれるかもしれません。

皆さんのフォトライフが、より豊かなものとなりますように、キタムラはいつもそのことを願っています。

【お詫言と訂正】前号の「ピンホールカメラの世界」中の17ページで、「今は取り壊されてしまった秋田県の芝居小屋「康楽館」とありますが、ここは取り壊される予定はございません。ここに訂正させていただきます。ご迷惑をおかけしたことを深くお詫言いたします。

1	2	3	4
D	C	ソ	F
5	ク		6
7	イ	カ	ヤ
8	ン		9
		ウ	10
	B		E
13	ツ		マ

答え=○○○○○○○
ヒント:毎年、元日が楽しみです。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル

- 1 今年は何もせず、リーグ優勝を逃しました。
2 一年生、二年生、三年生。
3 気持ちや興味の対象が変わりやすいこと。
4 三波春夫さんの名文句「○○○○○○○は神様です」。
10 ある事をするために使う道具のこと。
11 スペイン語で数字の1のこと。ゲームの名前にもあります。
12 嫌なことがあった日は、カラオケで「○○○購らし」。
13 ノドの部分に白い模様のあるクマさんといえば?

問題: クロスワードに答えて、A~Fのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係
締め切り: 2月29日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.29) 解答とご当選者 解答:「ウミビラキ」

田村孝次郎(北海道)、菊池郁子(北海道)、石田紗緒里(青森県)、真壁久美子(秋田県)、玉山賢一(岩手県)、相澤 明(神奈川県)、及川賢一(神奈川県)、山口貴弘(埼玉県)、宮坂忠夫(長野県)、坂井吉司(新潟県)、高津真由美(新潟県)、有田一正(新潟県)、堀江剛介(石川県)、山田昭広(静岡県)、岡田幸史(愛知県)、井上秋野(愛知県)、川口公子(三重県)、橋本博(大阪府)、尾瀬正尚(京都府)、岡田 隆(奈良県)、三原三三(奈良県)、柴田利春(兵庫県)、増成 昭(岡山県)、北村博文(広島県)、秋川友見(徳島県)、山本宏子(高知県)、柿原耕治(福岡県)、安森秀子(福岡県)、山本由直(大分県)、川田希和(沖縄県) 敬称略

フジカラー 四季 Vol.31 WINTER 平成11年12月1日発行 季刊第31号

FUJIFILM
I&I-Imaging & Information

ADVANCED
PHOTO
SYSTEM
24ミリフィルムシステム



写りの衝撃。リアル3倍ズーム。

nexia

ネクシア 3100ixZ APSカメラ



【キレイ色フジノンレンズ】色の再現が抜群に美しい。



NEW

第4の感色層をもつ【ネクシア】フィルムの美しさをフルにひきだすフジフィルムの新発想カメラです。

- 独自のスーパーEBC技術から生まれたシャープで色再現の美しい「キレイ色フジノンレンズ」(3倍ズーム 広角23~望遠70mm)。
- 自然な調子のキレイな写真。デジタルプログラム技術で最適光量を自動調節する「キレイ色フラッシュ」。
- 旅にジャストな小型・軽量・フラットボディ。チャンスを逃がさない簡単オートマチック操作。
- 思い出をまとめるのに便利。フィルムを途中で入れ換えて撮れる、フィルム途中交換【MRC】機能つき。

ネクシア3100ixZ メーカー希望小売価格 45,000円(ストラップ、ケース込)(消費税別) (リモコン別売) 3,000円 ※「メーカー希望小売価格」は消費税抜きの価格で、ご購入の際には消費税が加算されます。また価格はご購入の際の目安となるものです。 ※フィルム途中交換(MRC)機能は、MID ROLL CHANGE(ミッドロールチェンジ)の略称です。 ※APS規格に準拠したカメラであれば、MRC機能付きカメラ間との互換性はあります。お問い合わせ先:富士写真フイルム株式会社(月曜日~金曜日 午前9:30~午後5:00) TEL (03) 3406-2362 フジフィルムホームページ <http://www.fujifilm.co.jp/nexia3100/>

